



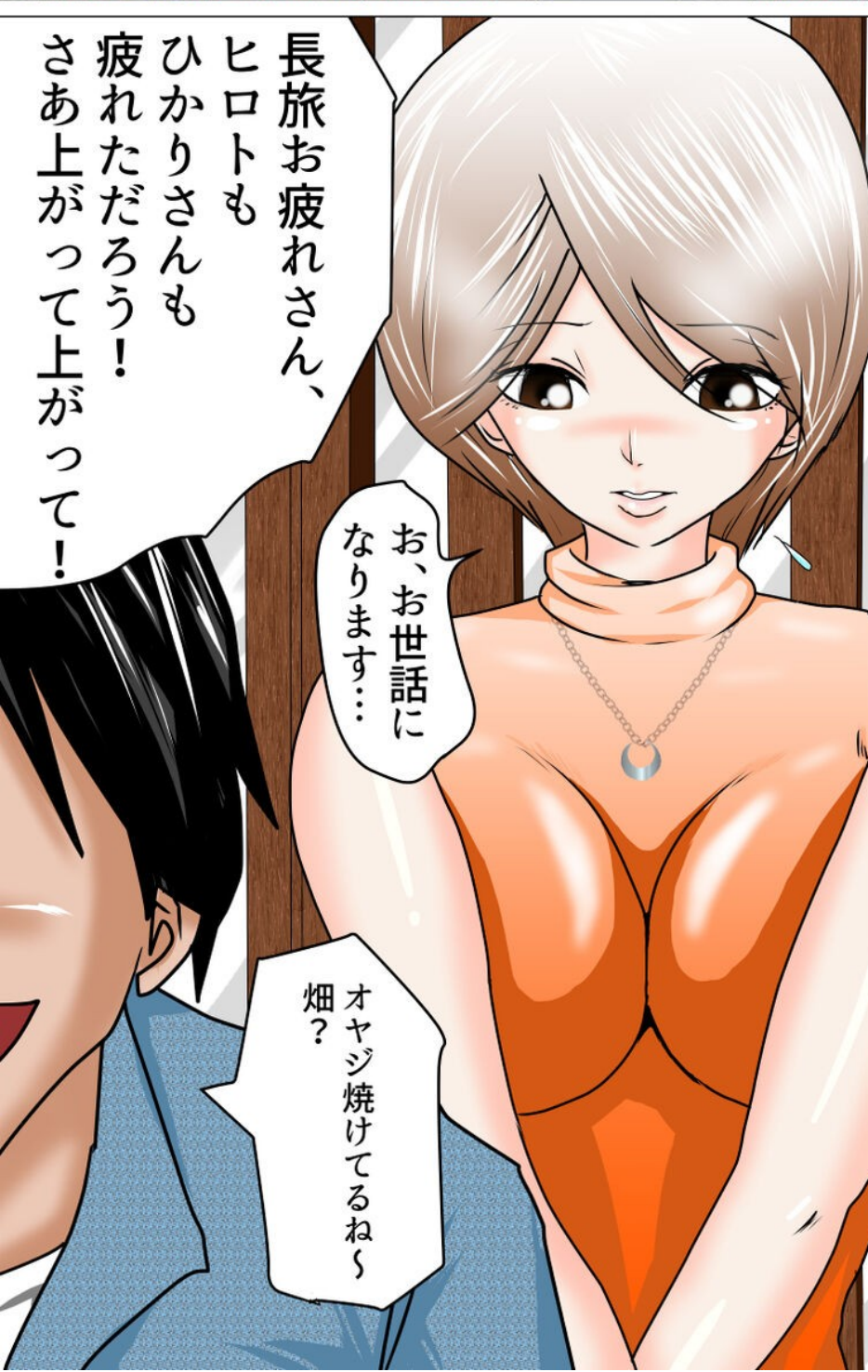
夏の お義父さん

—前編—

『ただお義父さんに元氣になつてほしくって...
私は、悪い妻...母...そして嫁です...』

18

フルカラーコミック40P



なんとかして…
お義父さんを…



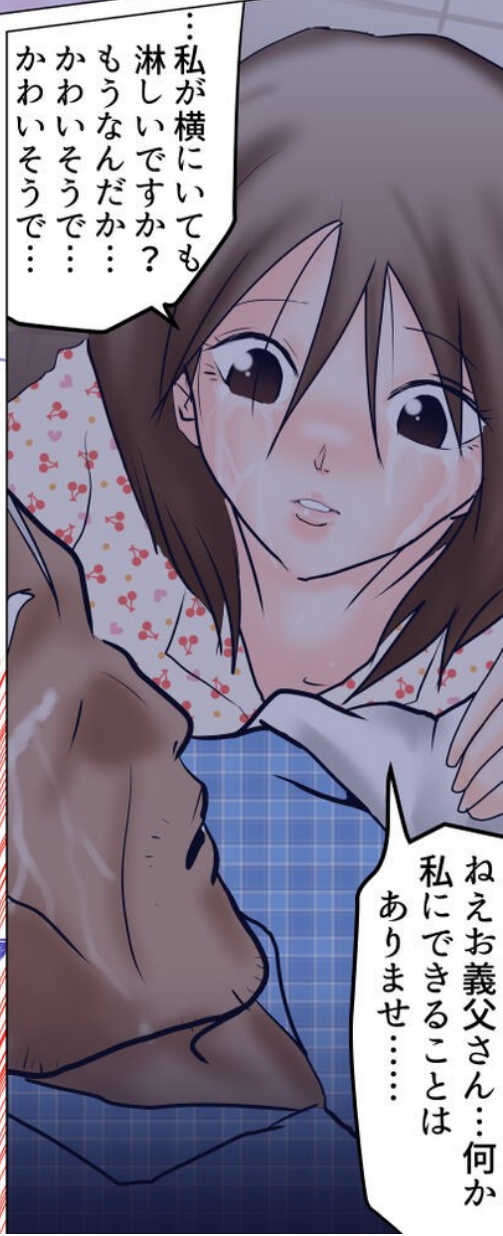
ひ…
ひかりさん
……？



え…

…私が横にいても
淋しいですか？
もうなんだか…
かわいそうで…
かわいそうで…

きやつ…



ねえお義父さん…何か
私にできることは
ありませ…

お義父

…さん？

ありがとう
ひかりさん…
そうか…
そんなにまで
わしのことを…
ありがとう…

それならわしも
少しは立ち直る
努力を
せんにやあな…

え

ちよっ…

グス…

ありがとう
ひかりさん…
きっかけをくれて
本当に感謝するよ



!!

んむっんんっ…
や…め…

…
誤解です
お義父さん!

ま、待ってください！
そういうことじゃないんです！
私はお義父さんに
元気を取り戻してほしかっただけで…！

や、約束…

約束する！！

もう嘆くのをやめて前を向いて
生きていくと！！それにひかりさんの
今の幸せを奪うようなことは決してせん！！だから…

だから
……

生きていく
ために…

この人は今
私を必要としてる

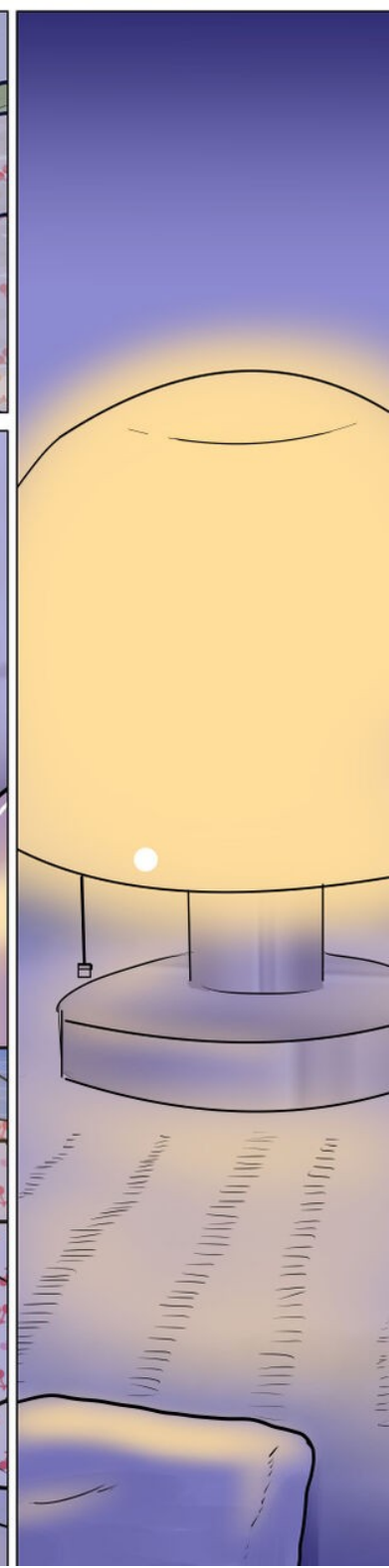
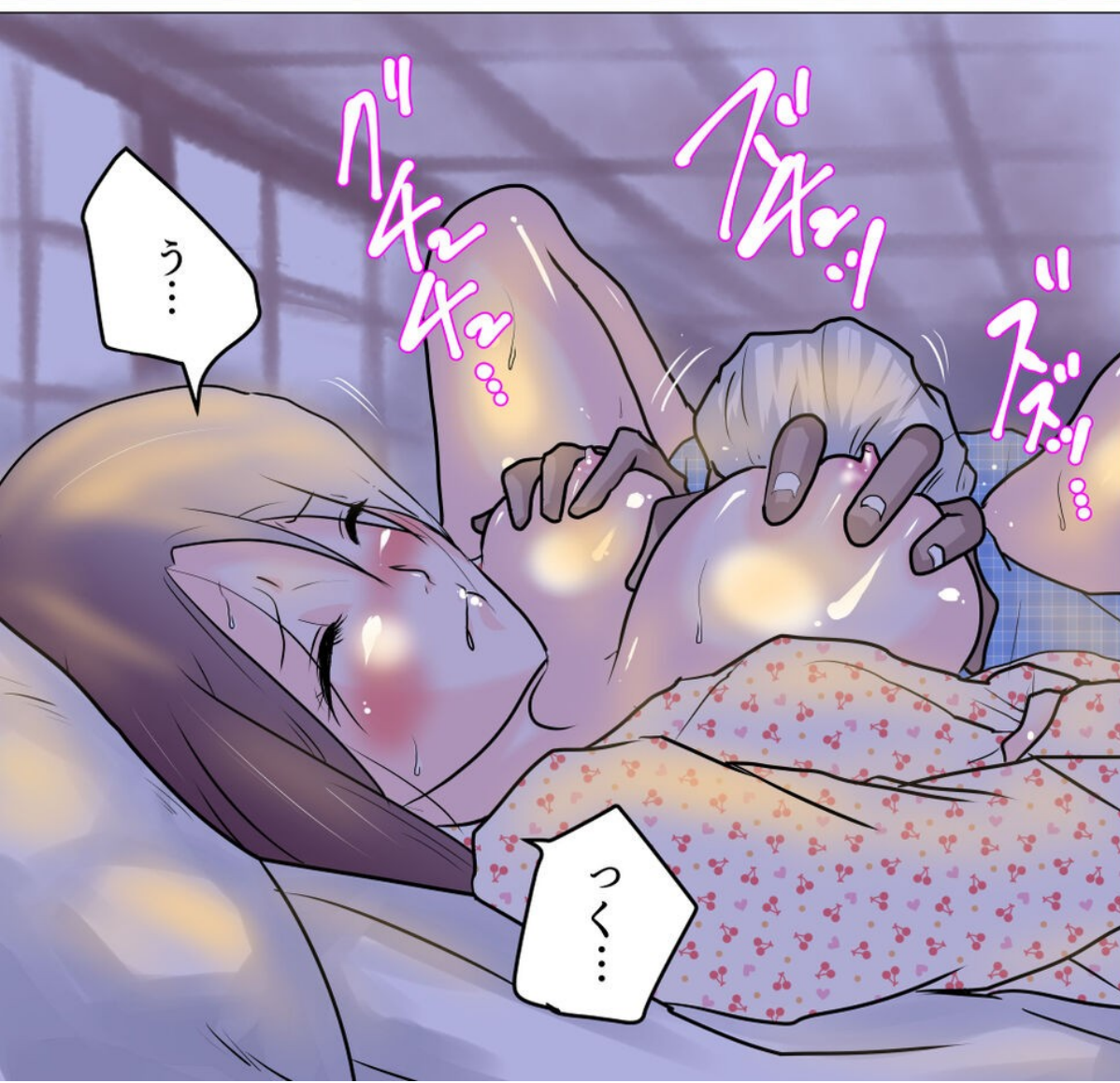
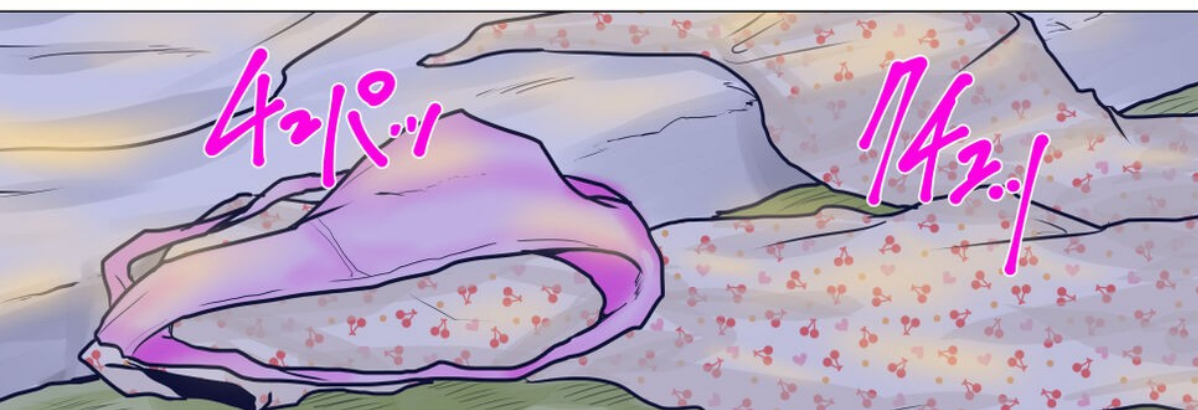
ぎゅっ…

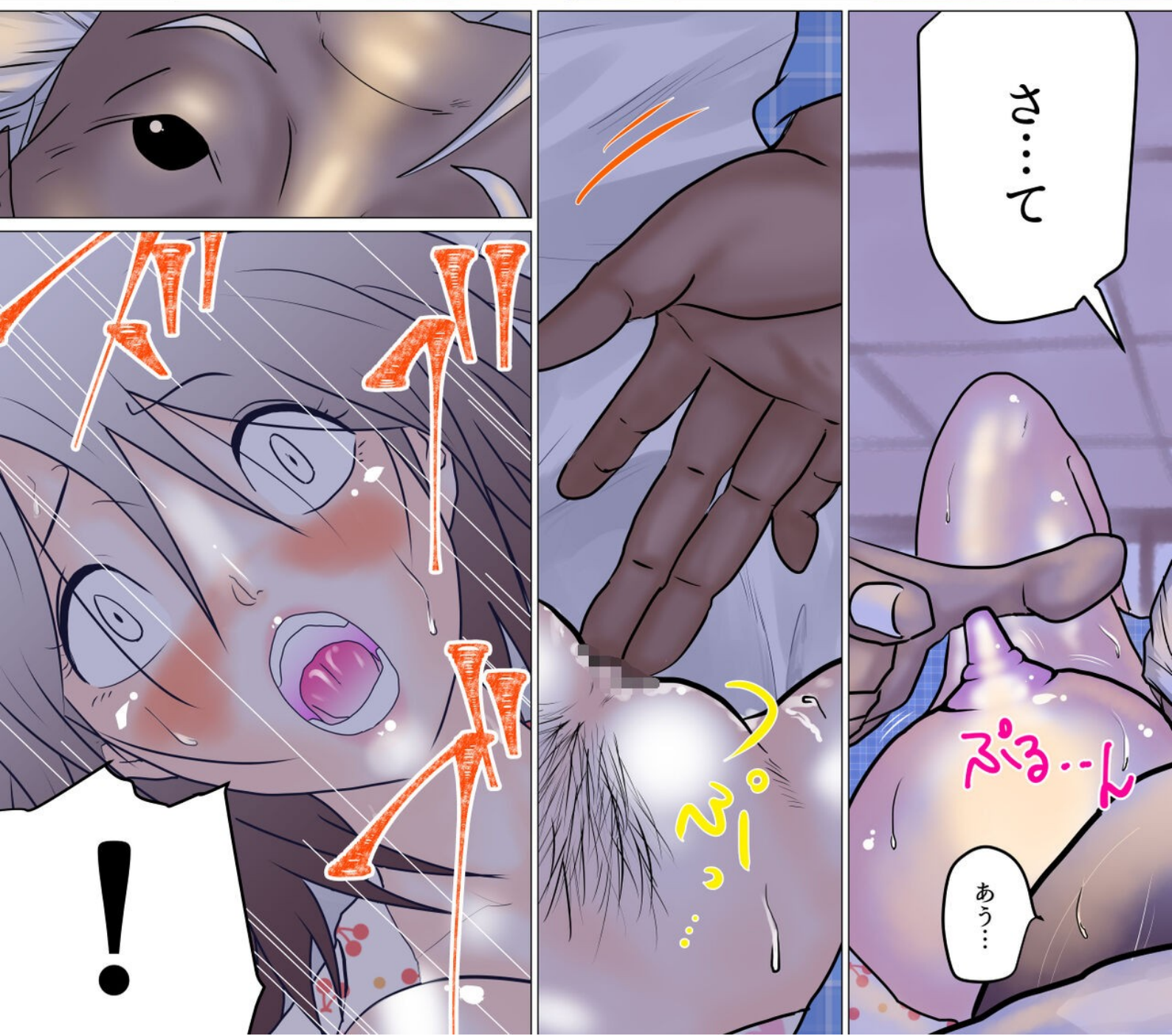
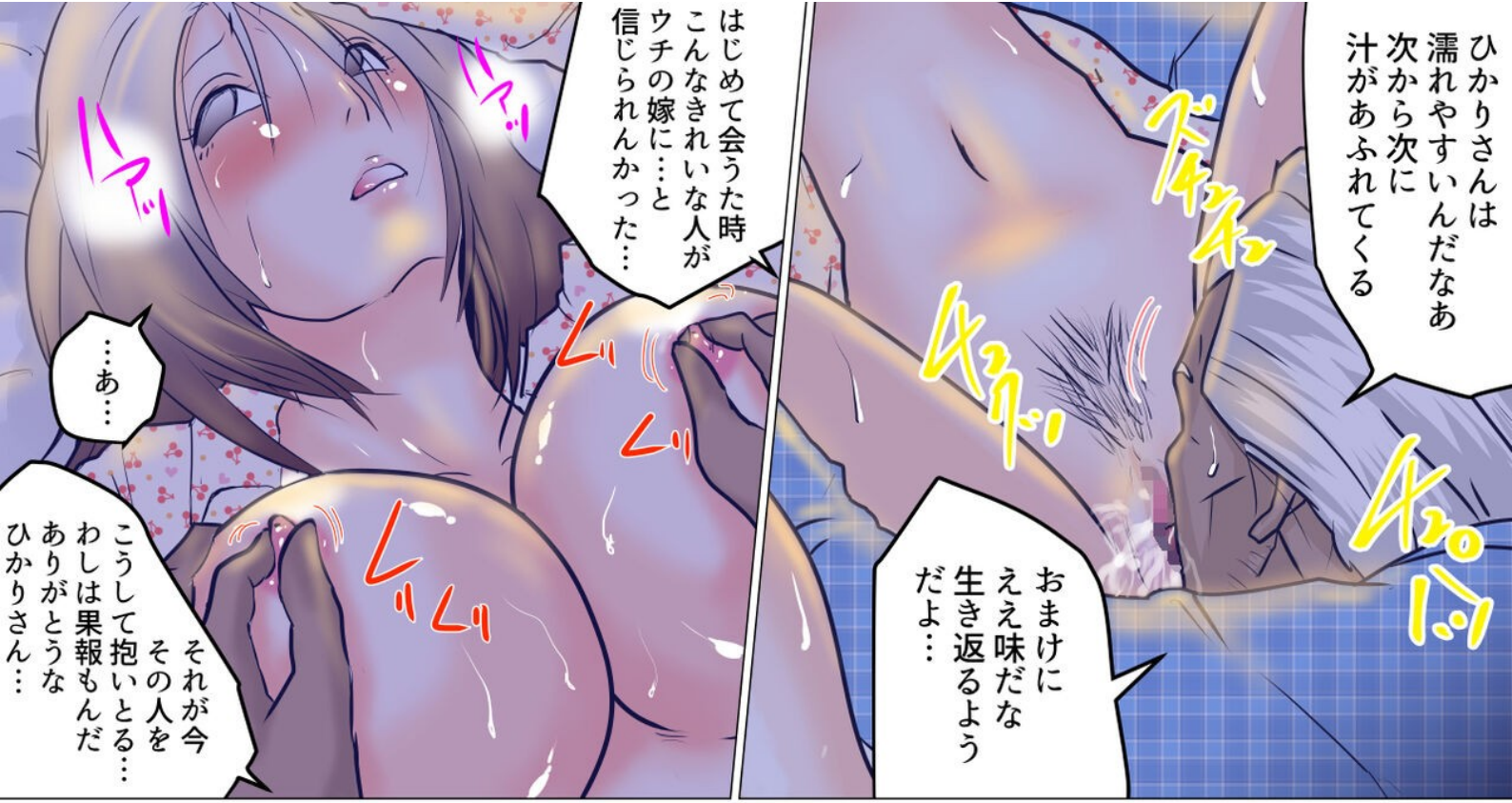
ヒロトさん
ごめんなさい
私は悪い妻です

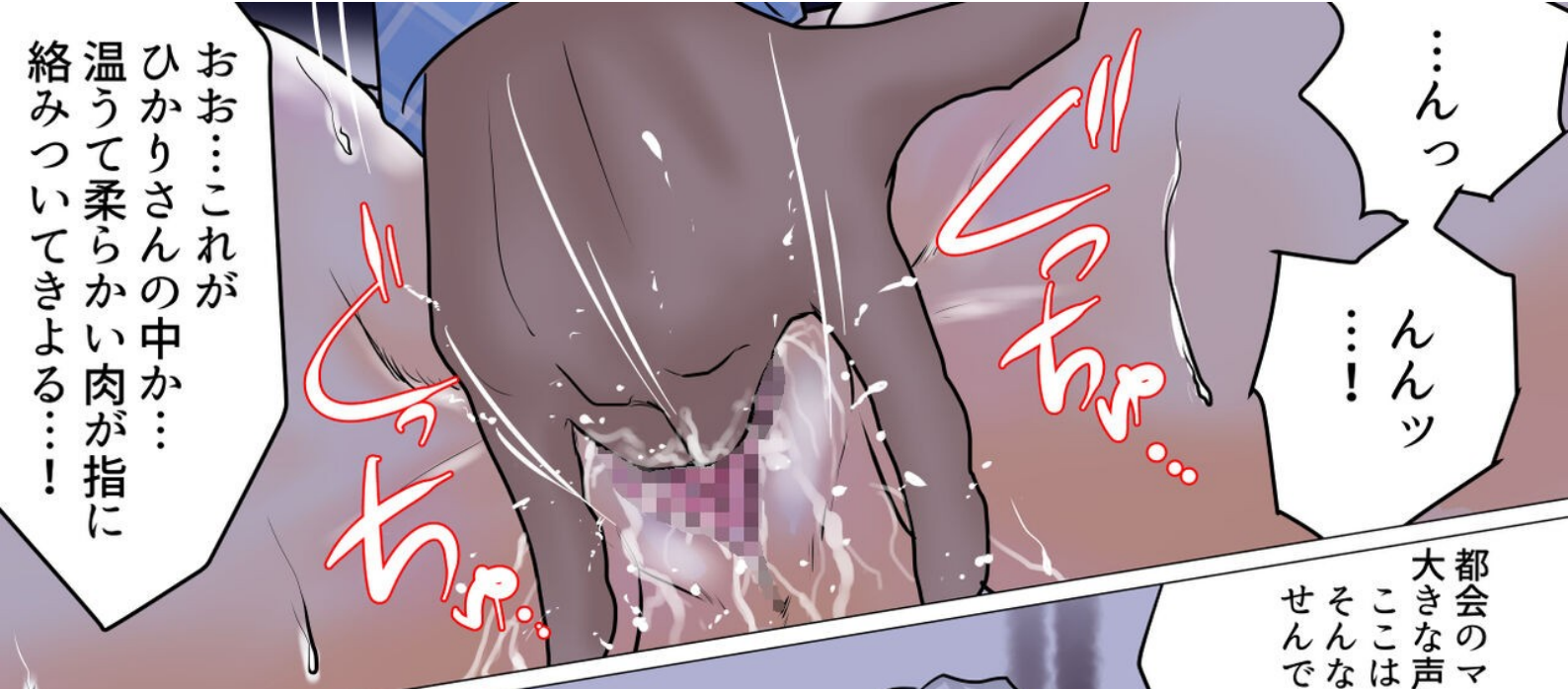
ユウト
ごめんね
悪いママで

お義母さん
申し訳ありません
悪い嫁ですよ

私は

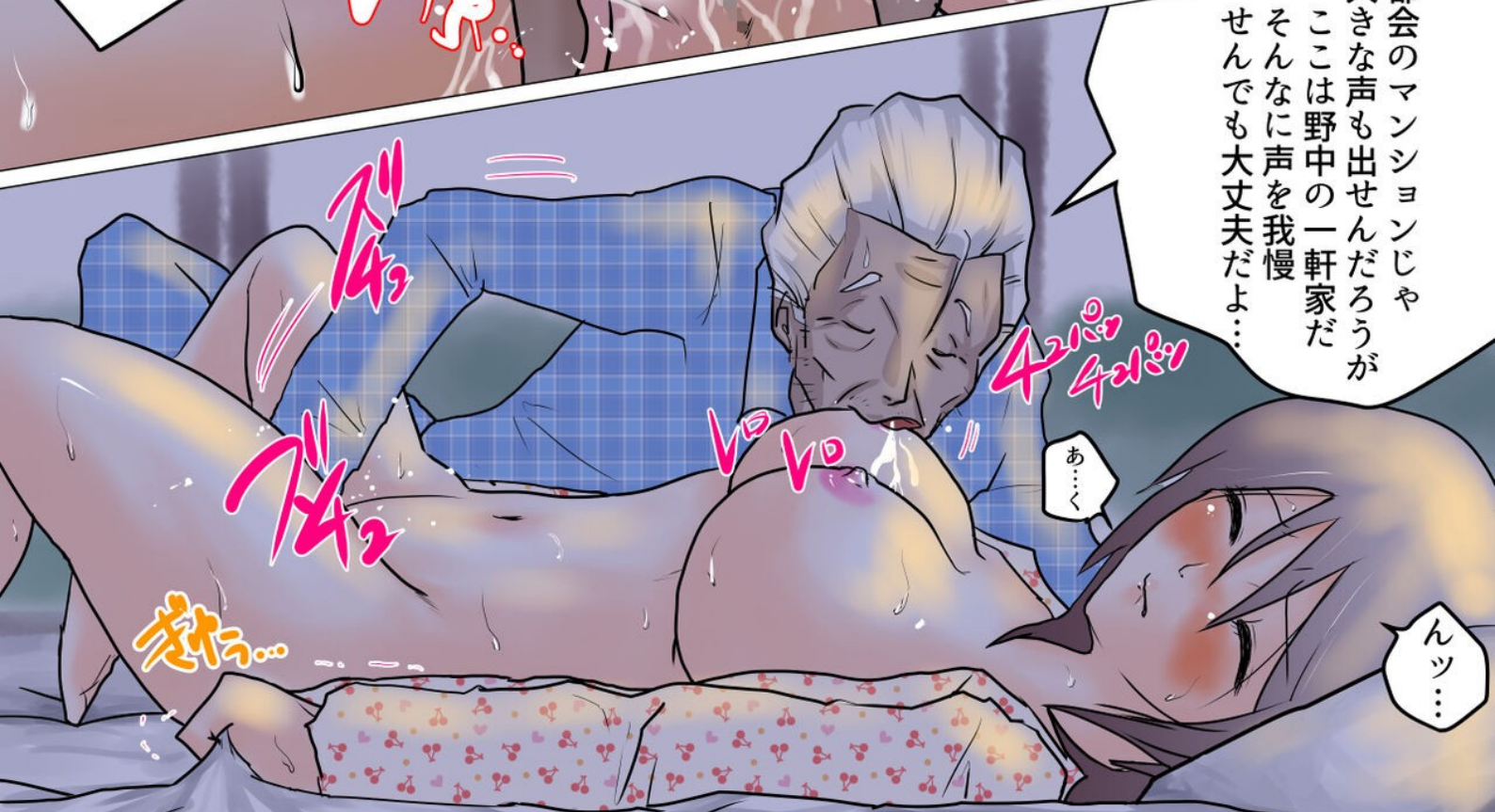






おお…これが
ひかりさんの中か…
温うて柔らかい肉が指に
絡みついてきよる…!!

…んっ
…!!
んんッ



都会のマンションじゃ
大きな声も出せんだろうが
ここは野中の一軒家だ
そんなに声を我慢
せんでも大丈夫だよ…

あ…く

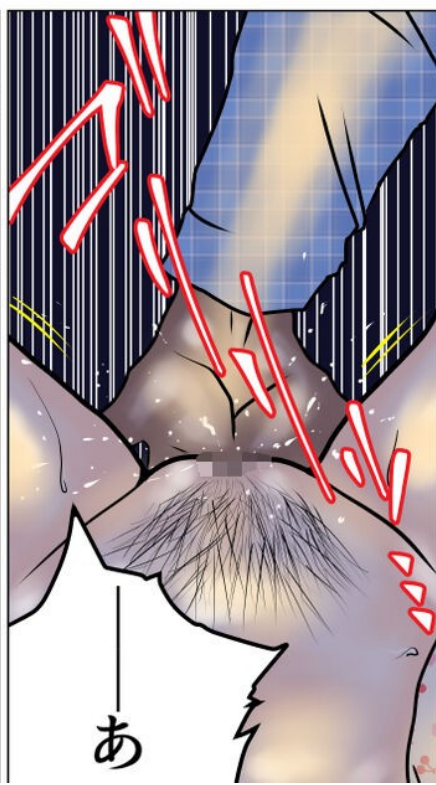
んッ…



ここだね
ひかりさん

待っ…

ああ



あ

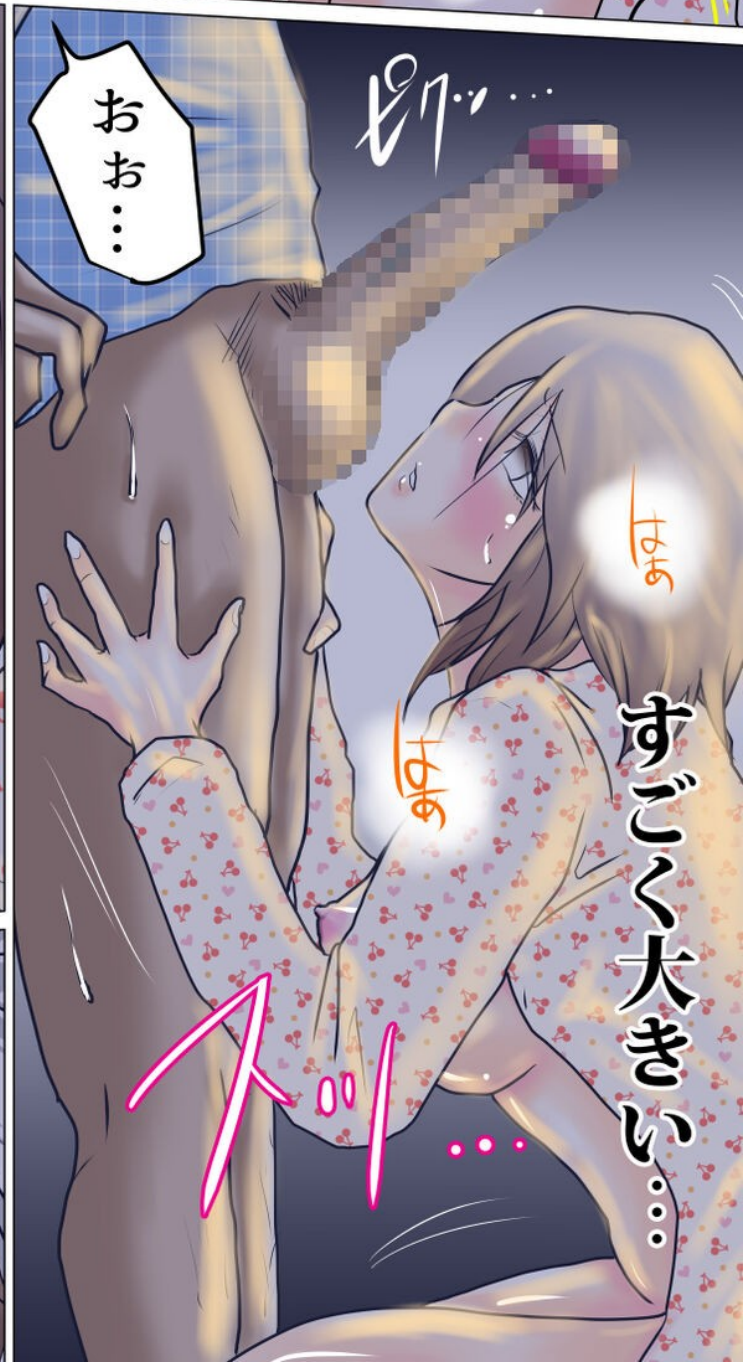


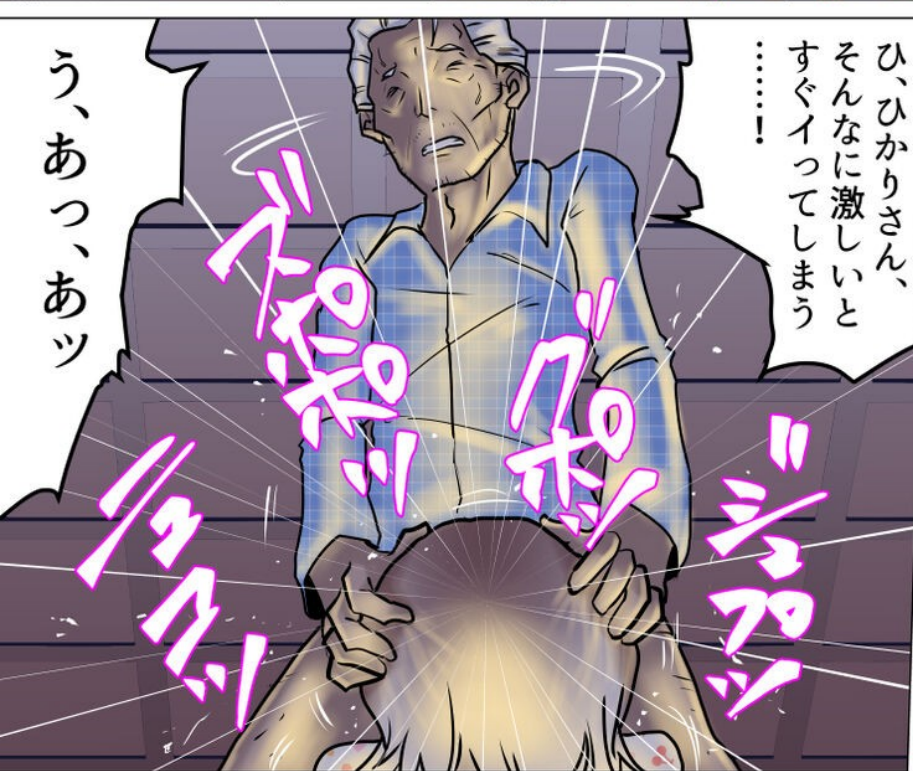
すば

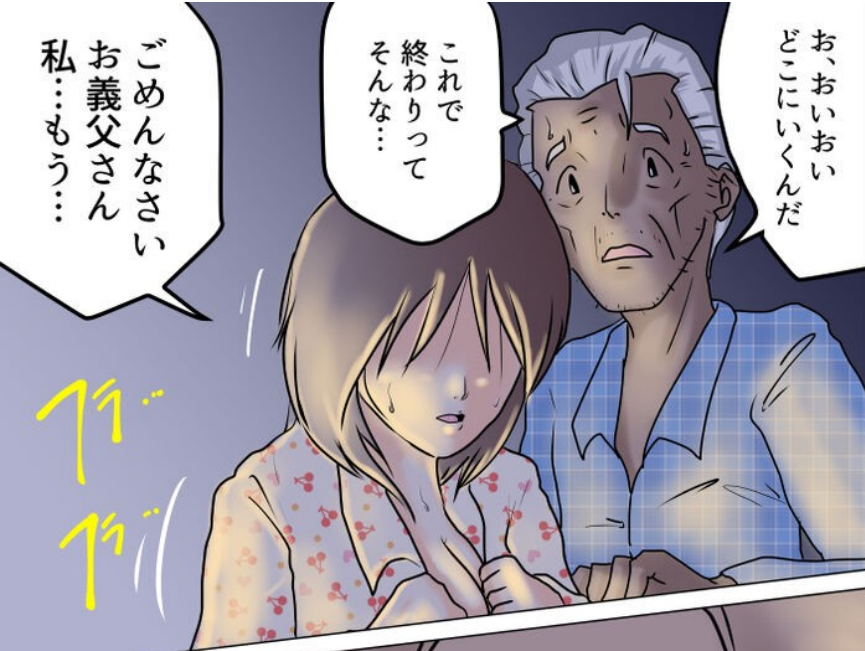
はあ

ああっ









ごめんなさい
お義父さん
私...もう...

これで
終わって
そんな...

お、おいおい
どこにいくんだ



え...な...なんで
止めるんだ...?
ひかりさん...?

はっ
はっ



がまん...
できなく
なっちゃい
ました...

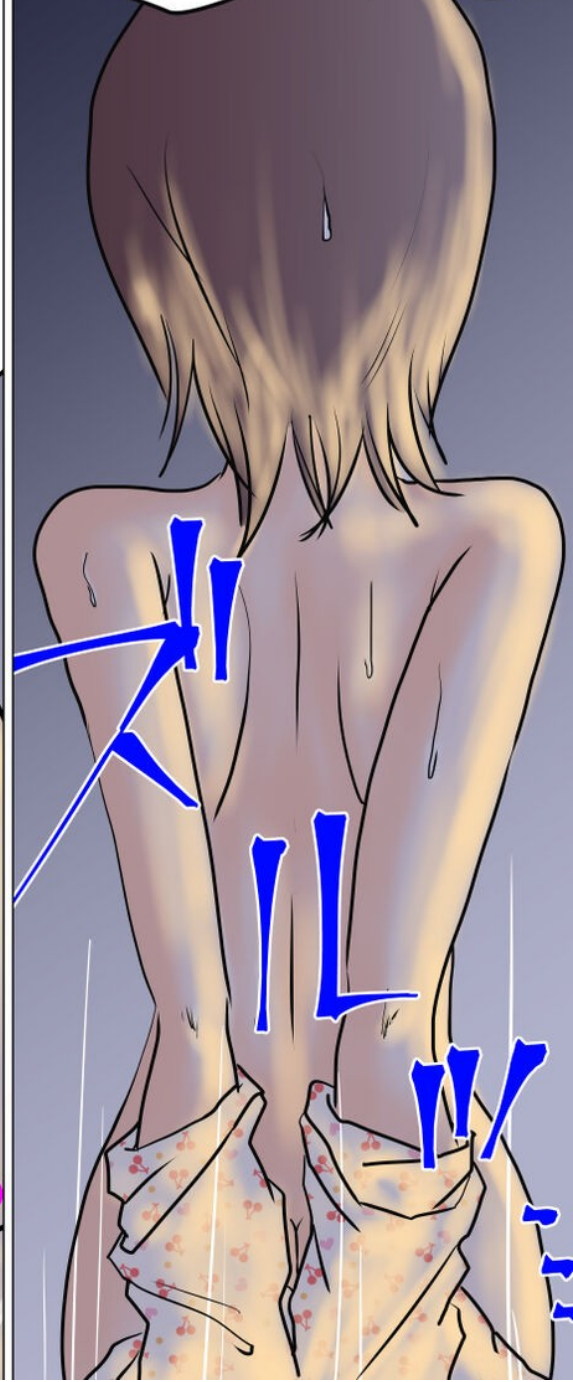


お:
お義父さんの
おつきくなつた
おチンポ:
私の
オマンコに
ください...

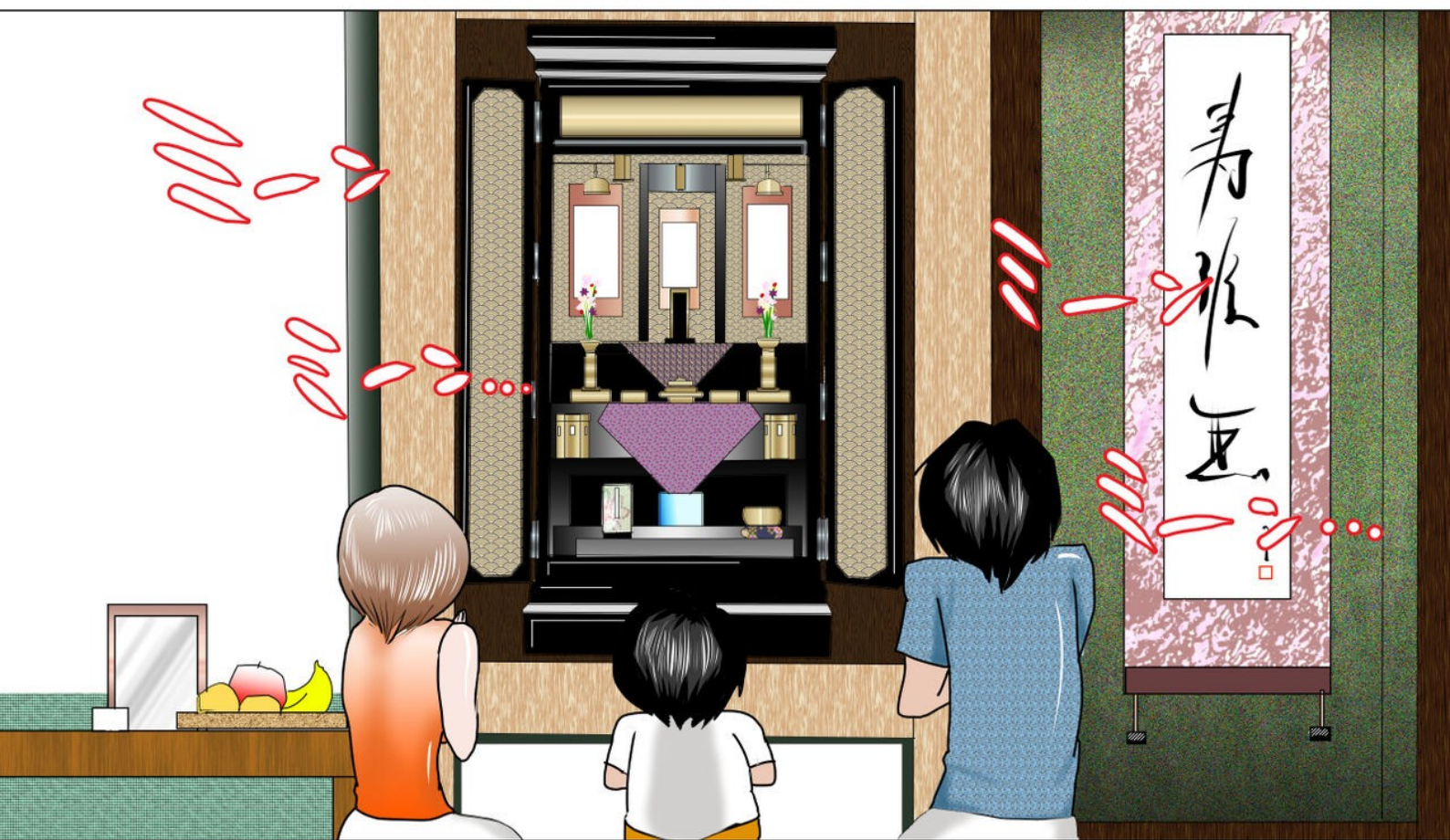
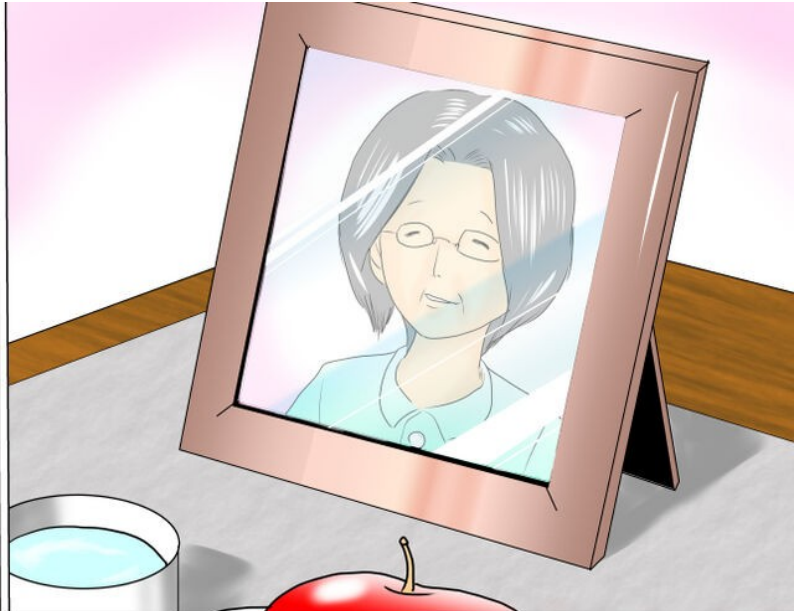
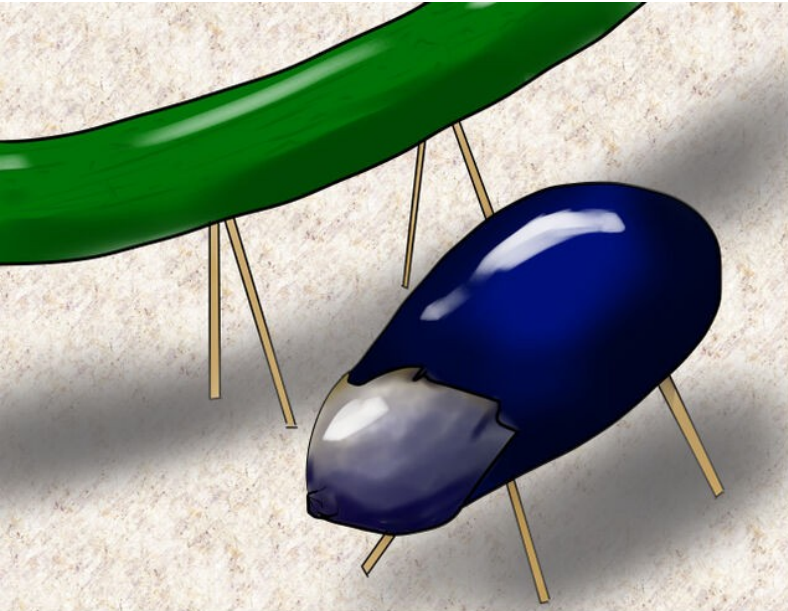
はあ
はあ

はあ...

あんなに下品で
恥ずかしい
言葉とポーズ:
そして自分から
誘ったことも
初めてでした



ズ
ル
ッ

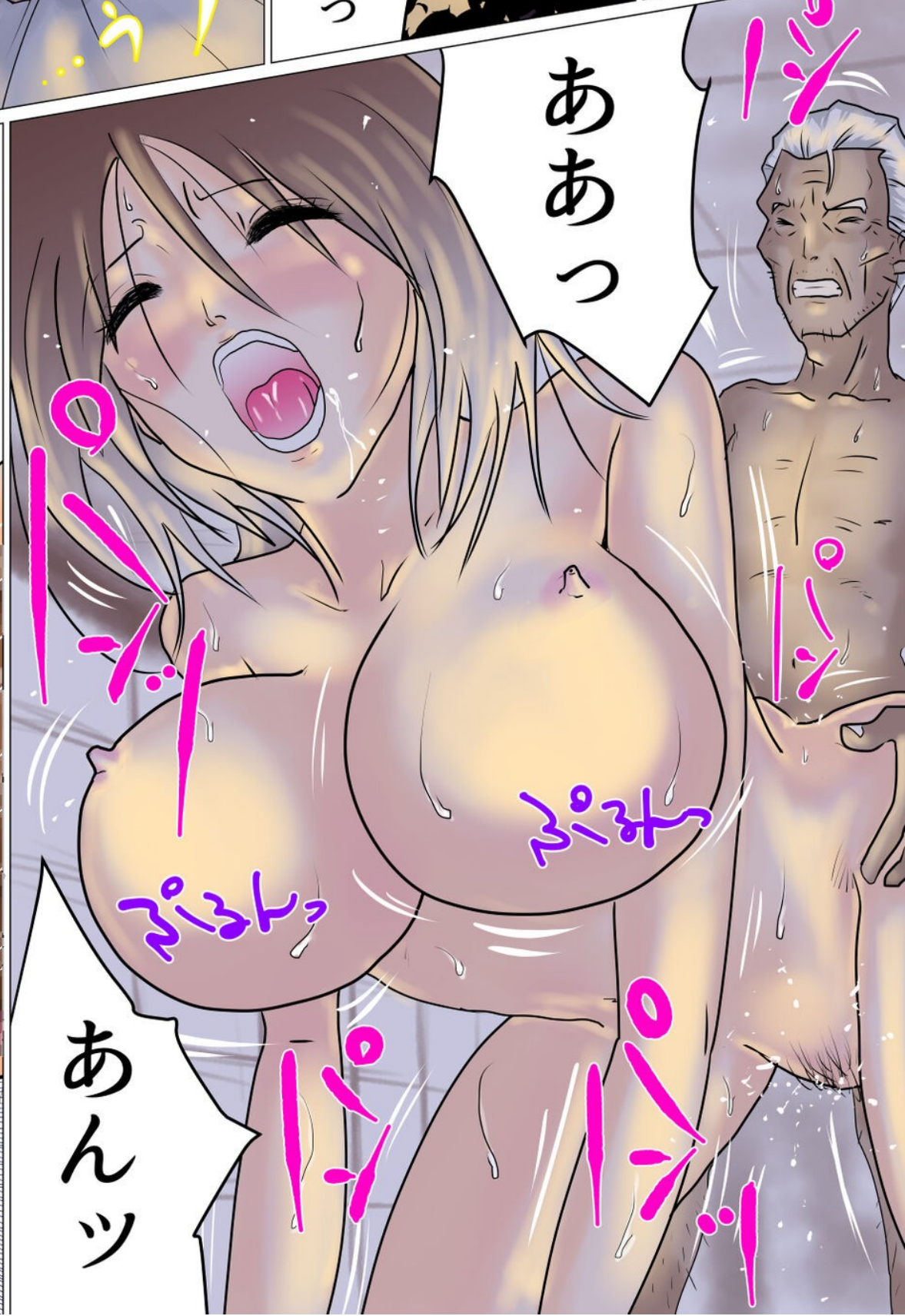


ほんと
よかったよ
元通り元気な
オヤジに戻ってさ



一時は後を追うん
じゃないかってほど
落ち込んでたけど...

おふくろが亡くなって
もう一年か...





あつ

んあああ

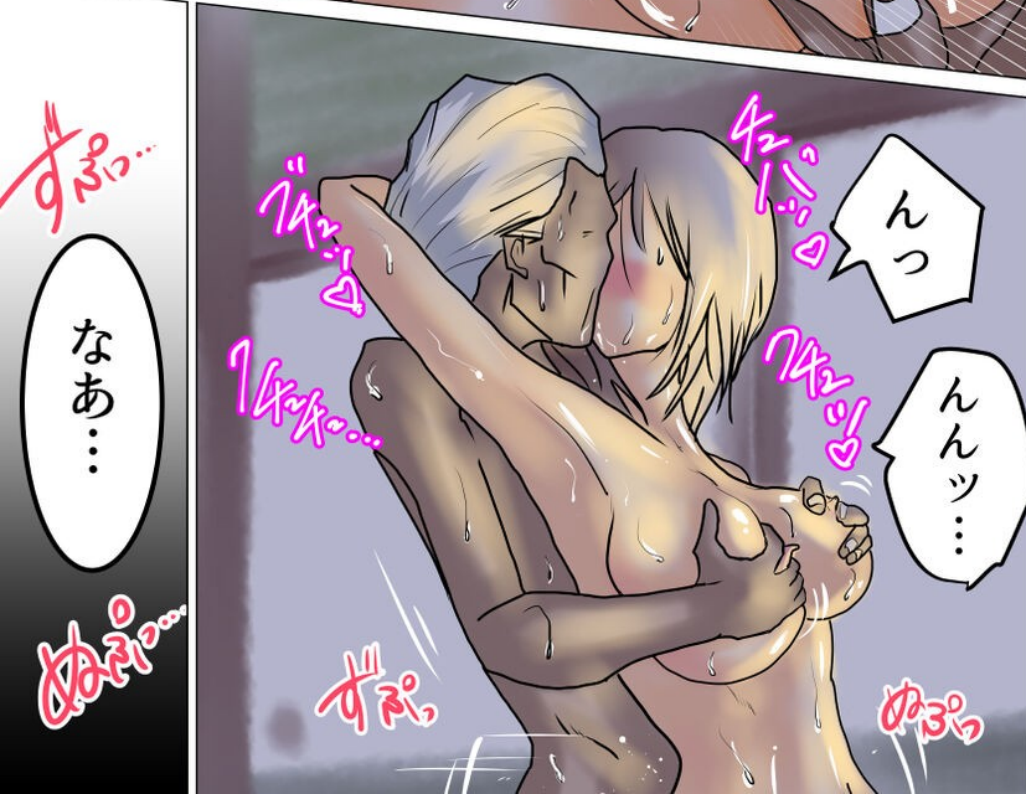
ああつ



ひあつ
…!



おチンポの
形がわかるっ
気持ちいいっ
キモチいいよう



んっ

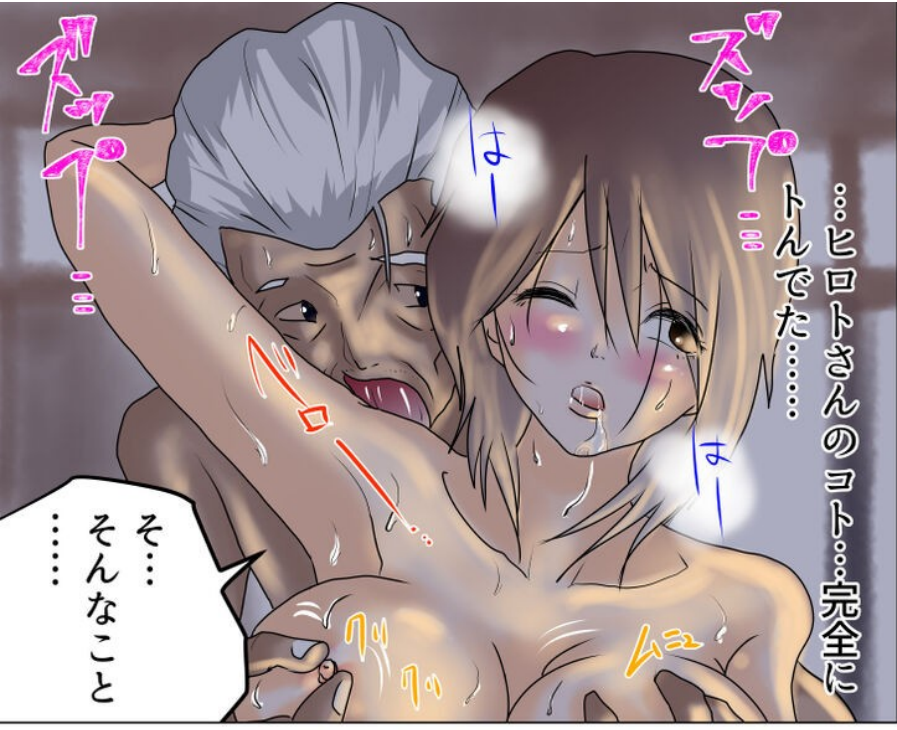
んんっ…

なあ…



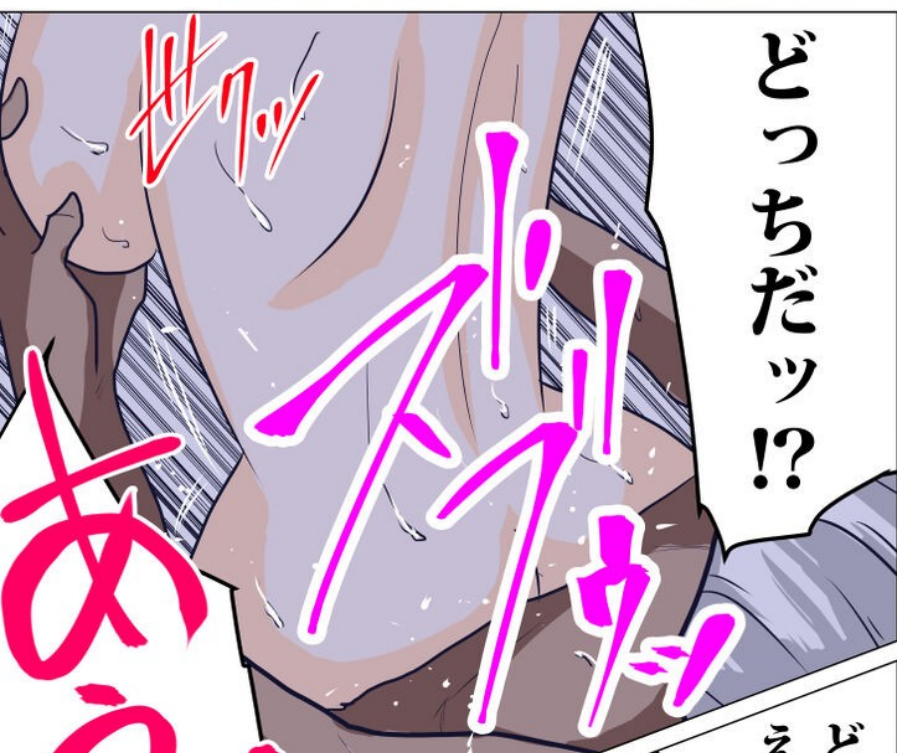
……あ…
やばい…
頭…ポ一つと
してきた…

義父のわしと
旦那のヒロト



…ヒロトさんのコト…完全に
トんでた…

そ…
そんなこと
…



どっちだッ!?

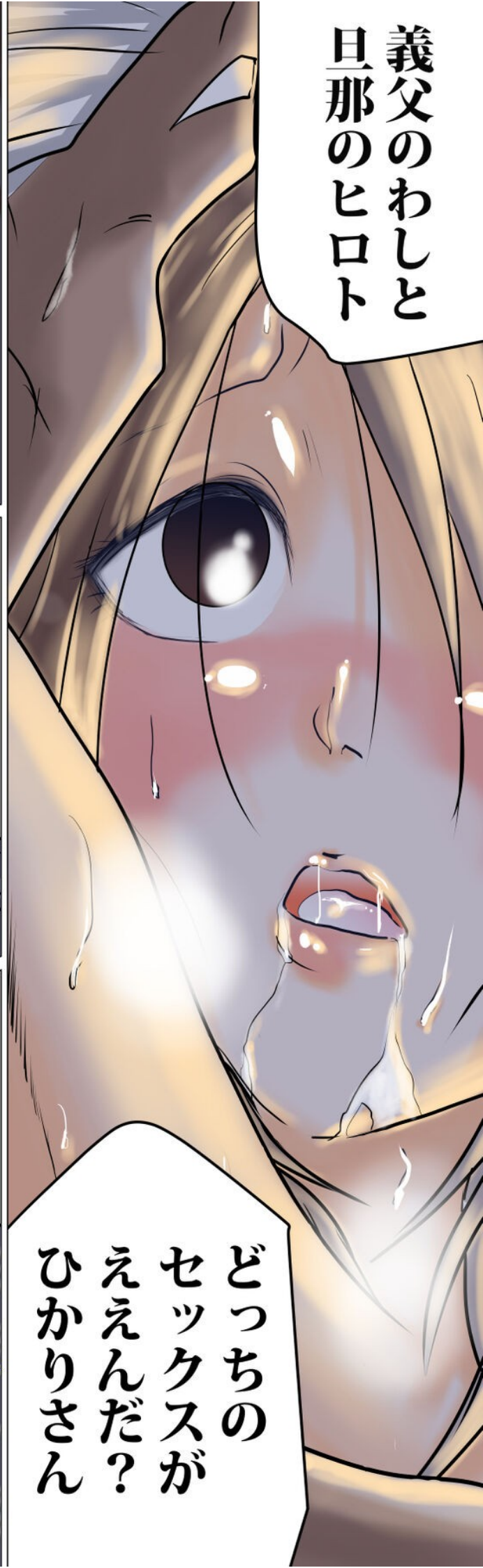


どっちが
ええんだッ!?

あッ

あんッ

どっちの
チンポが
ええんだッ!?

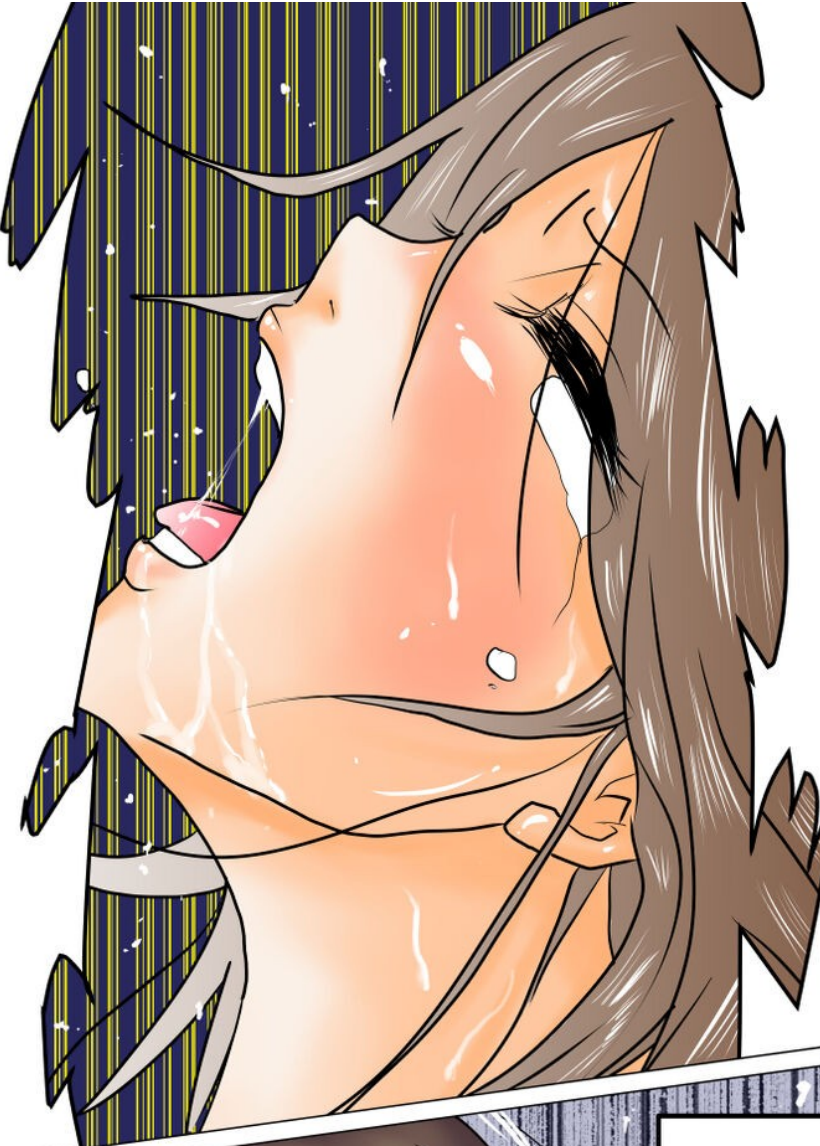


どっちの
セックスが
ええんだ?
ひかりさん



…お

お義父さんがいいっ!!



お義父さんのおチンポで

私をイかせてくださいっ!!

経験人数が少ない私は
それまで自分のことを
性的に淡泊な方だと思
っていました
それは夫との営みに
おいても同じで…

グッ

あッ

グッ

あッ

グッ

でもあの夏の夜…
義父の愛撫と挿入で
私は思い知ったのです
肉体の相性が良いと
こんなに快感の度合いが
違うものなのかと…

あの日の
私はもう

いいっ
いいっ

お義父さん

おチンポ

もっと

突き上げてえ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

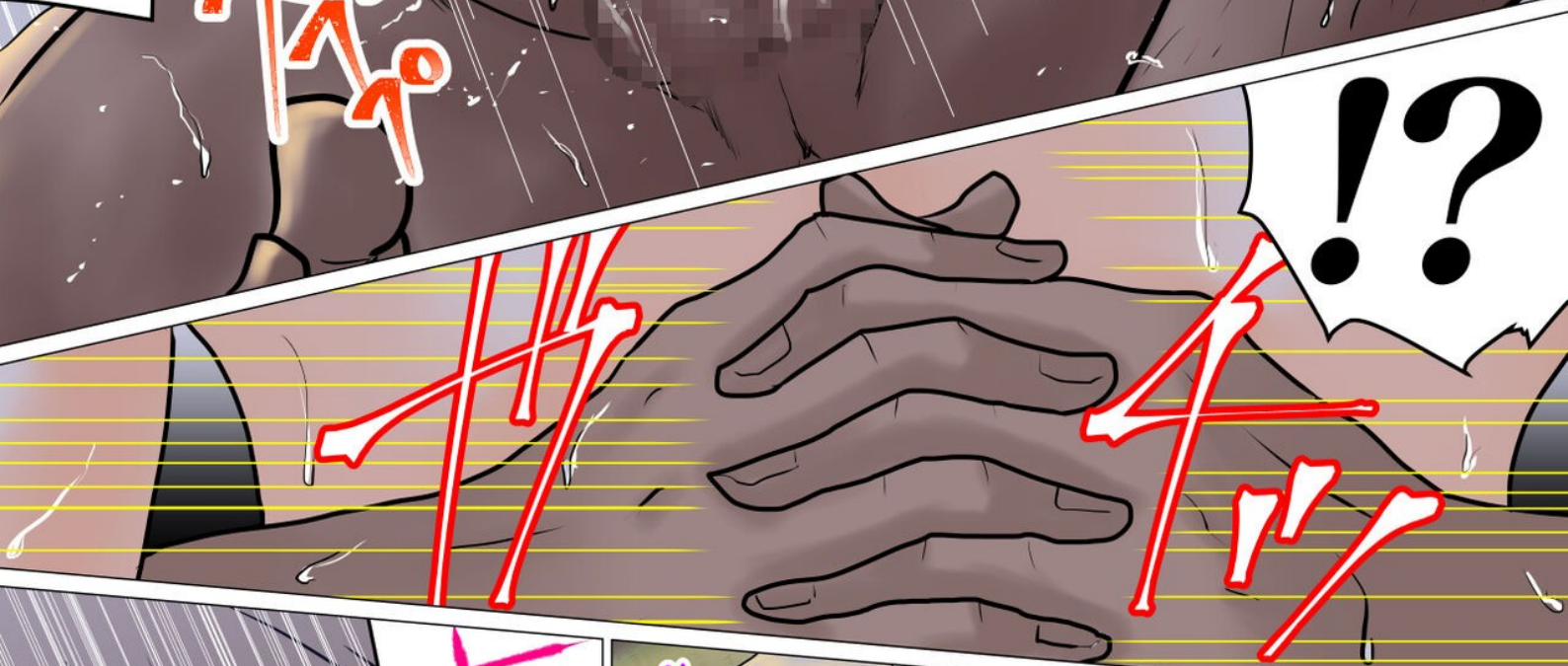
グッ
グッ
グッ

ただの一匹の
メスでした



ひっ、
ひかりさん
わ、わしはもう
イキそうだ…!!

私もっ!!
私も一緒に…



あッ! ああッ!
ダメッ! いやッ…
あああッ!!

ひかりさんッ
一緒にイクんじやる!?
ああ、締まる締まるッ
おおおおおおおッ



え…ちよっ…
お義父さんッ
中はダメッ!
中はっ…

あーん!

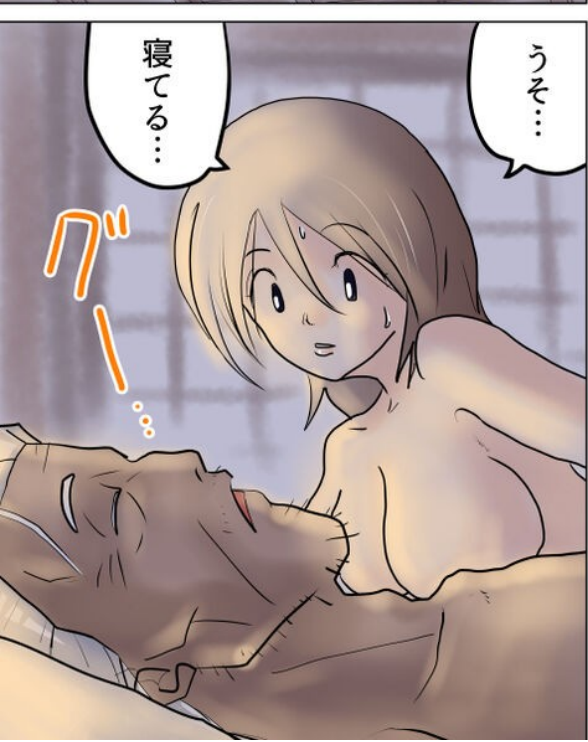
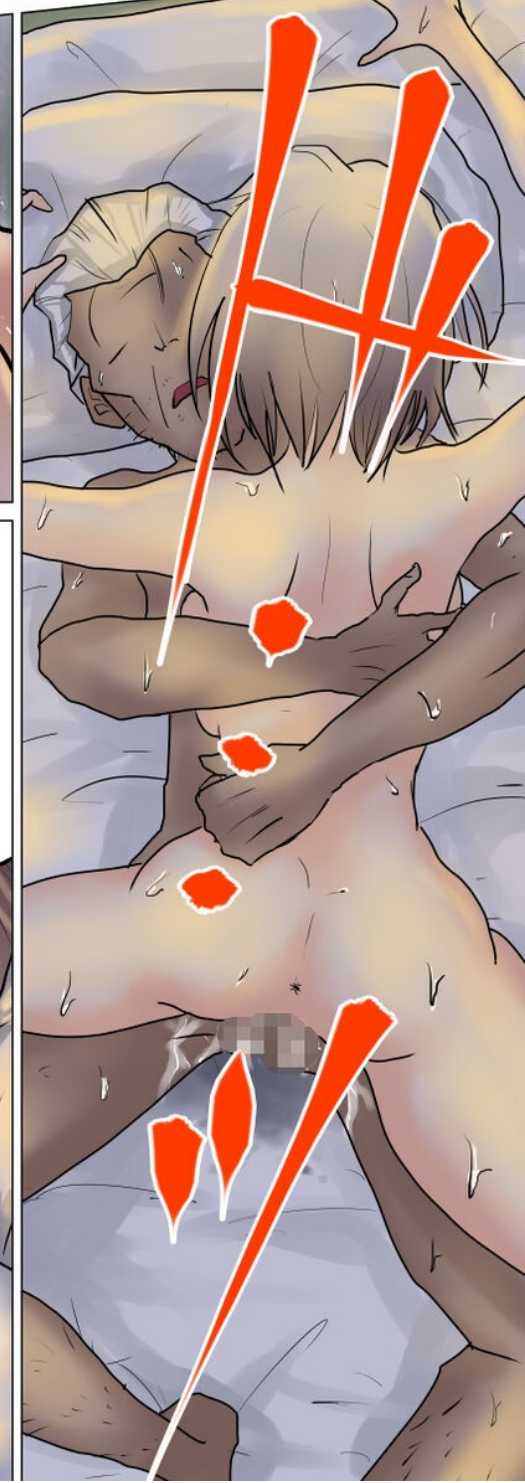
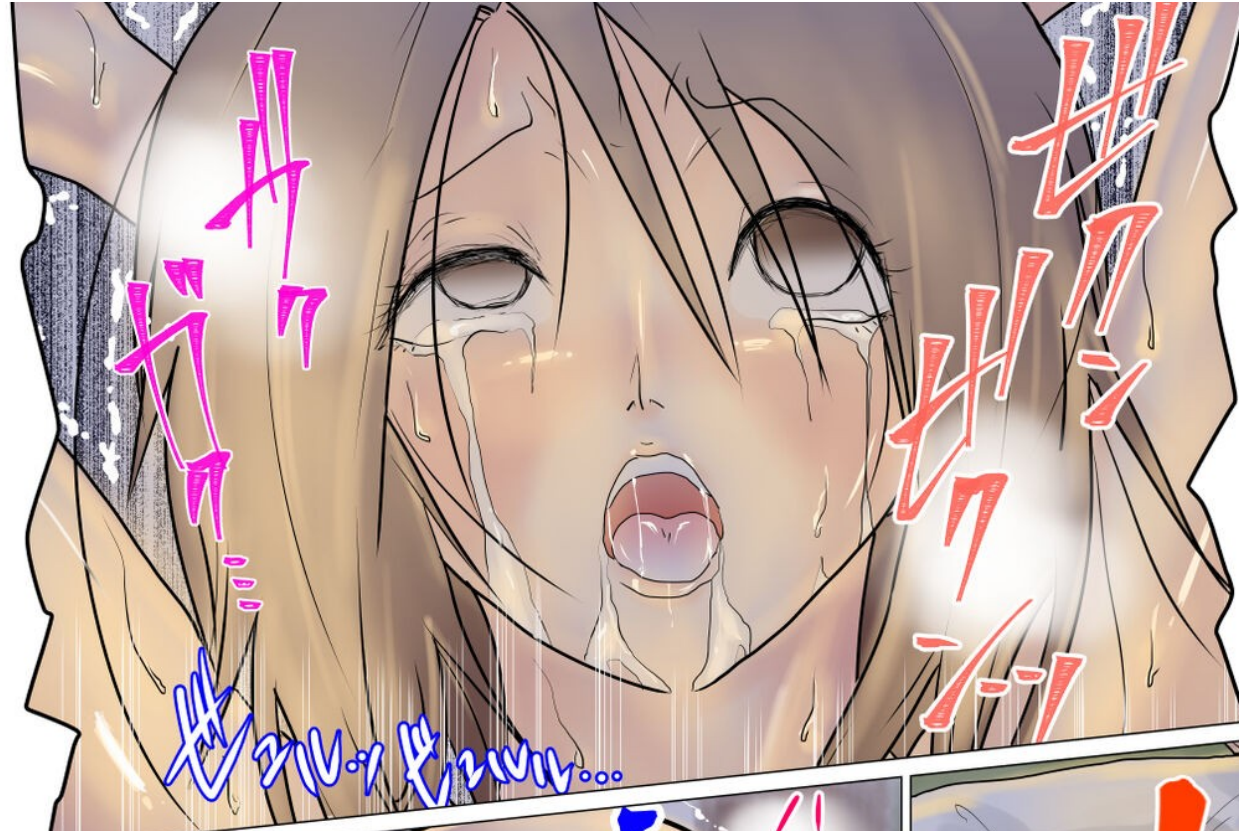


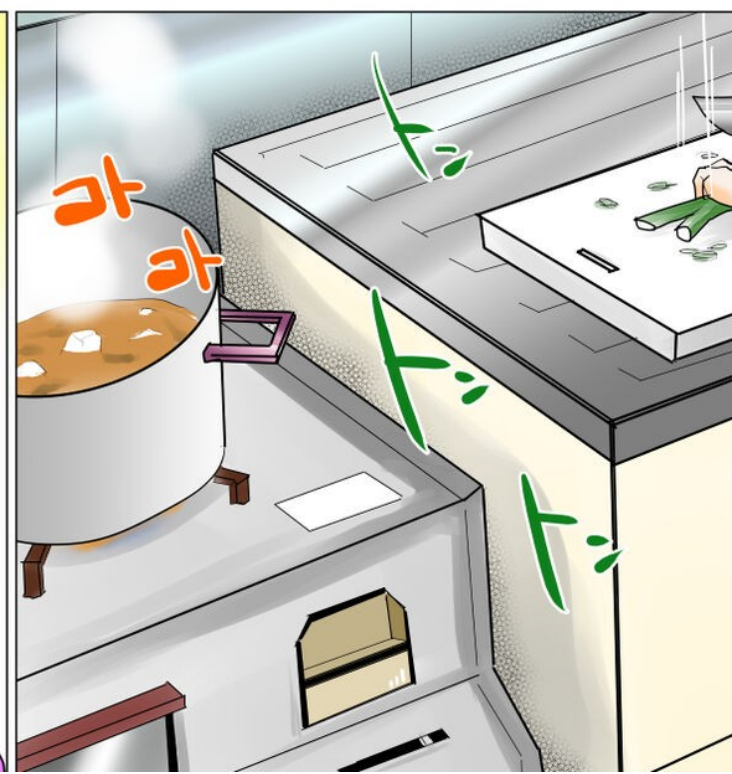
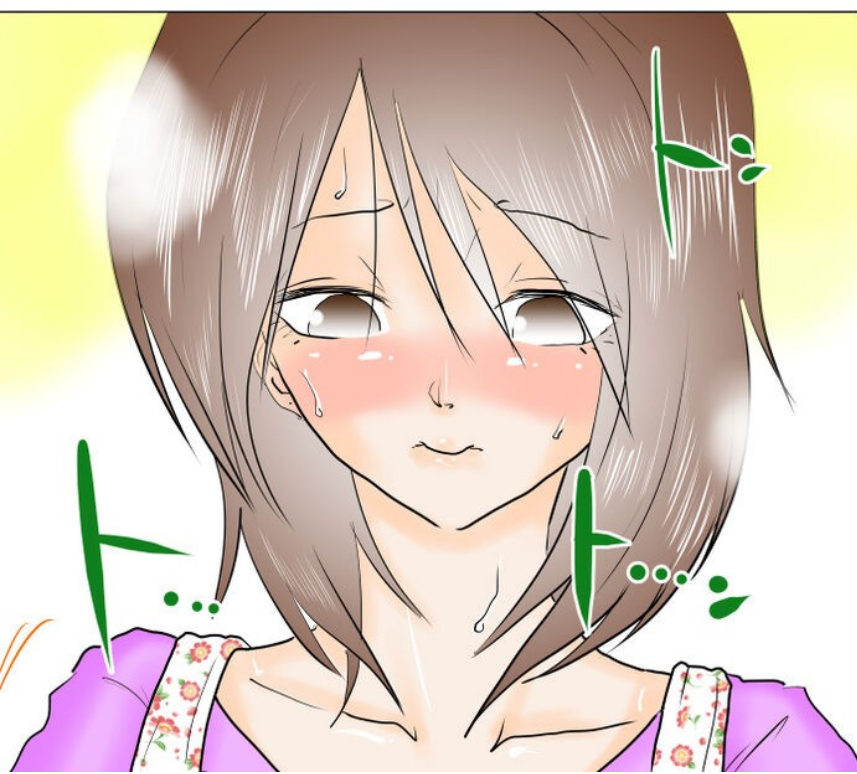
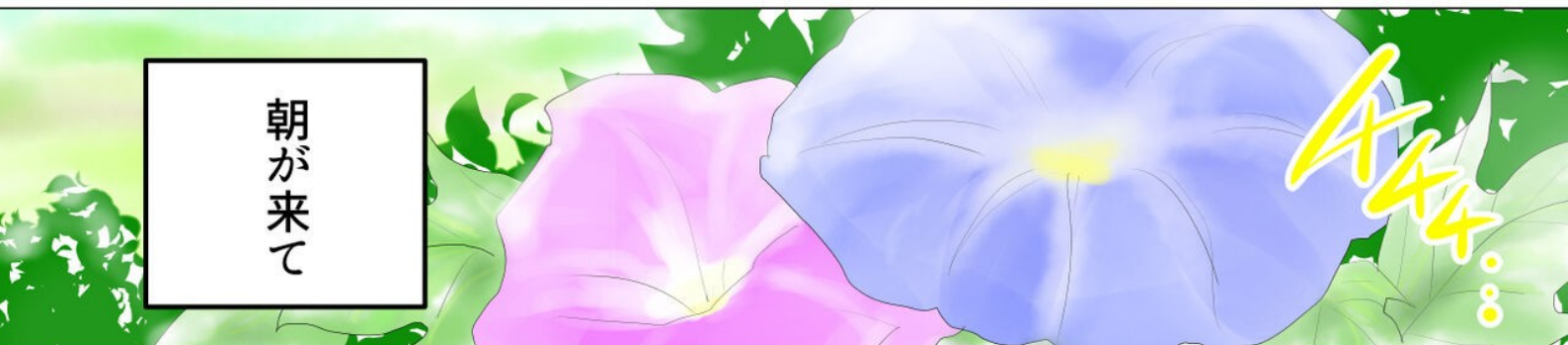
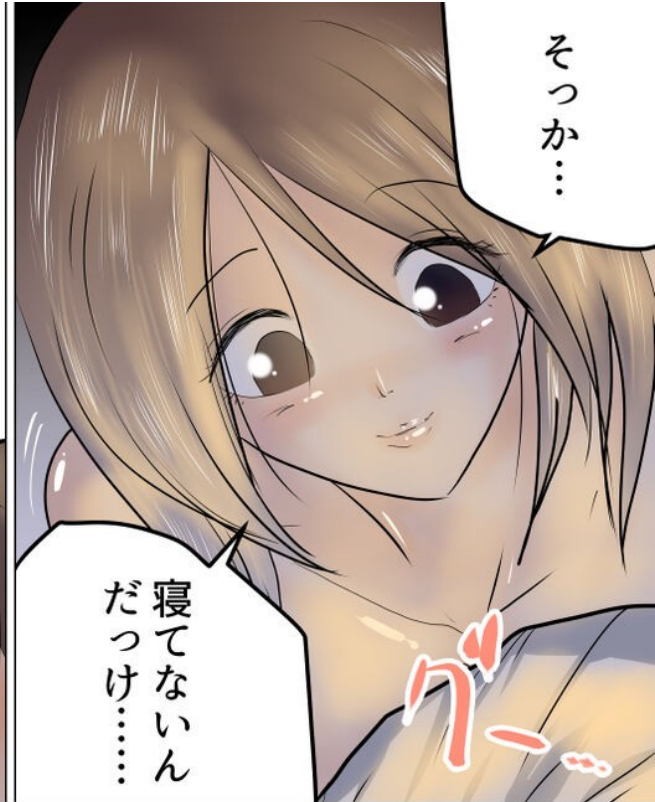
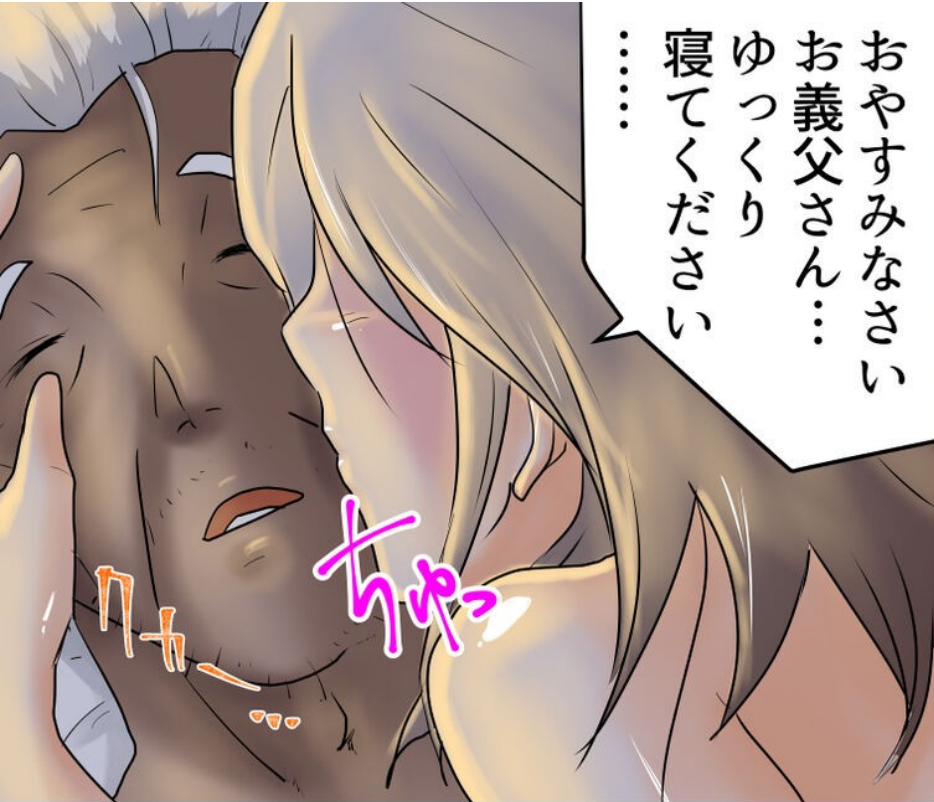
イツ...く!!

Large stylized pink and white sound effects and red lightning bolt symbols are scattered across the image, emphasizing the intense nature of the scene.

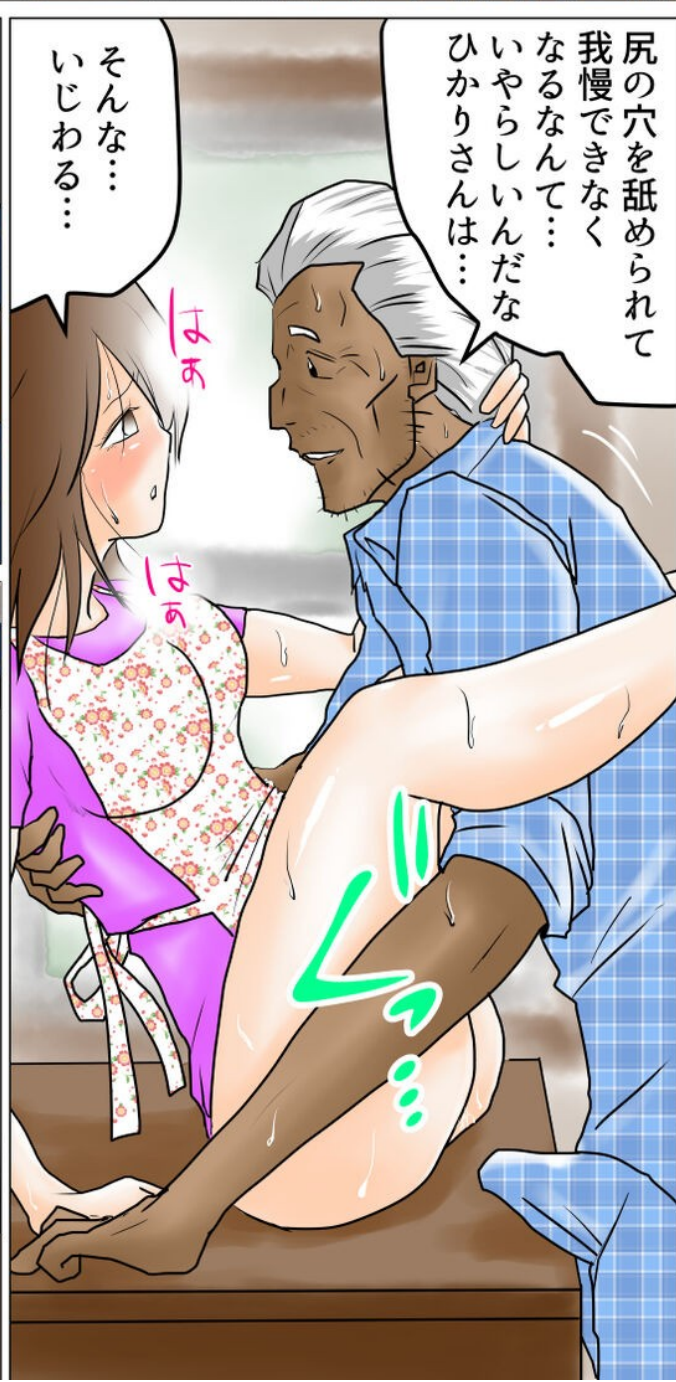
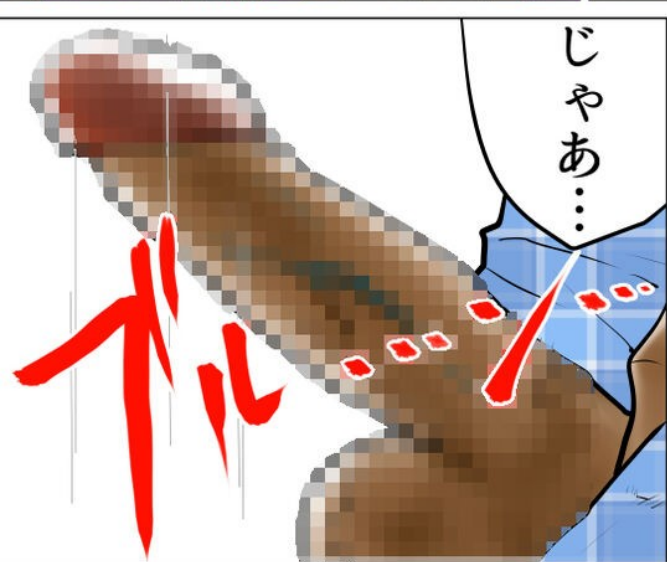
イッてるッ...

ダメ...メなのに...中...









それもこれも
みーんな
おまえたちの
おかげさ…

一人息子のヒロト
かわいいかわいい
初孫のユウト…
それになんといつても

ひかりさんの
存在だ

あれ
ヨメ持ち上げ
ちやつてー

ユウト
あれゴマすり
ってんだぞ！

ゴマスリー！
ゴマスリー！

はは…バカ
事実だからそう
言ってるだけだ

母さんが逝ってから
ひと月もの間つきつきりで
身の回りの世話や手料理
細やかな気づかい…
本当に有り難かった

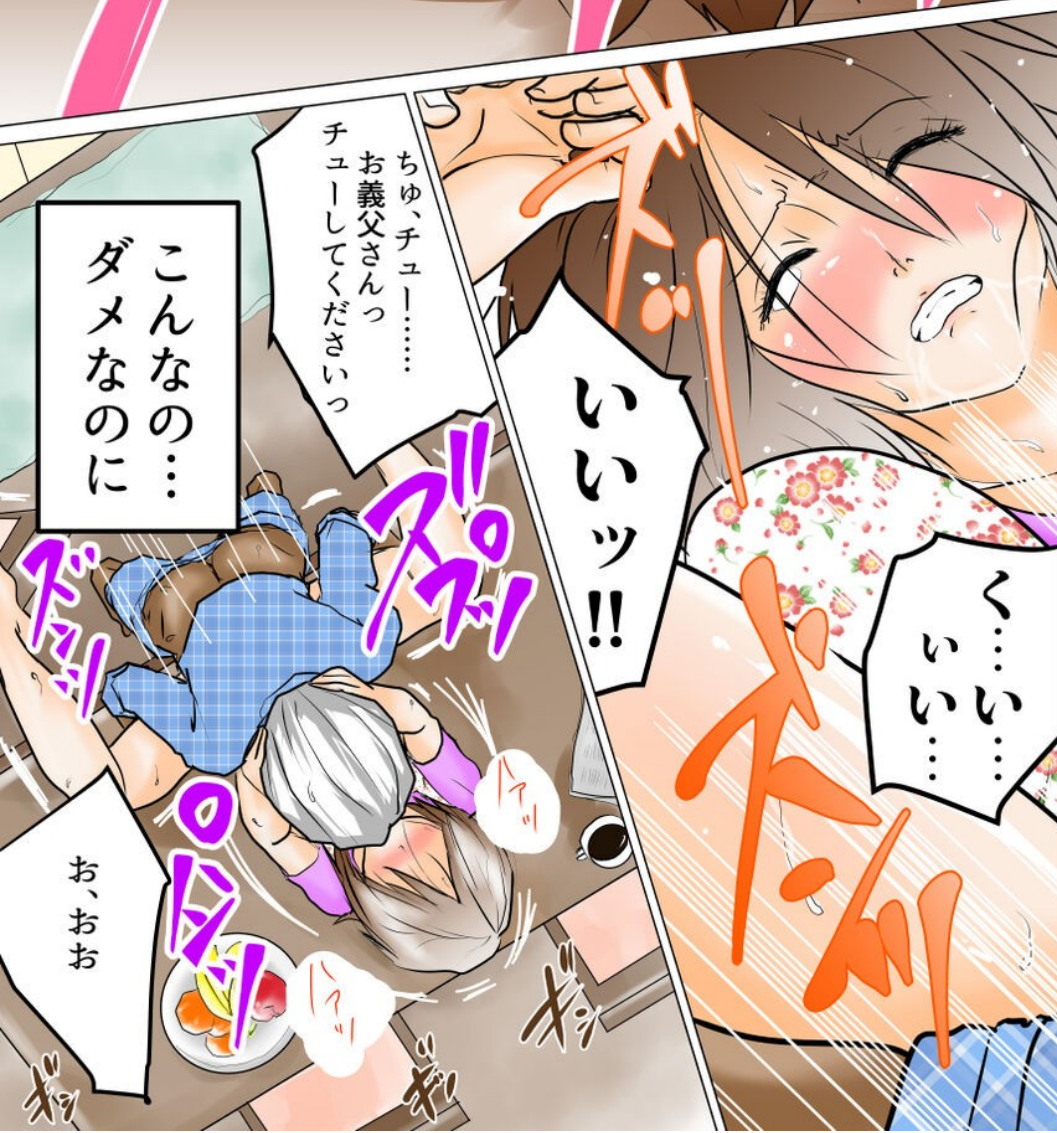
と…とんでも
ありません

あれがなかったら
わしは今ここには
おらんかもしれん
なあ、ひかりさん…

嫁として
できることを
しただけ
ですから…

あああ

あッ





んあ
あ

タガはどんどん
外れていつて

んッ

お…

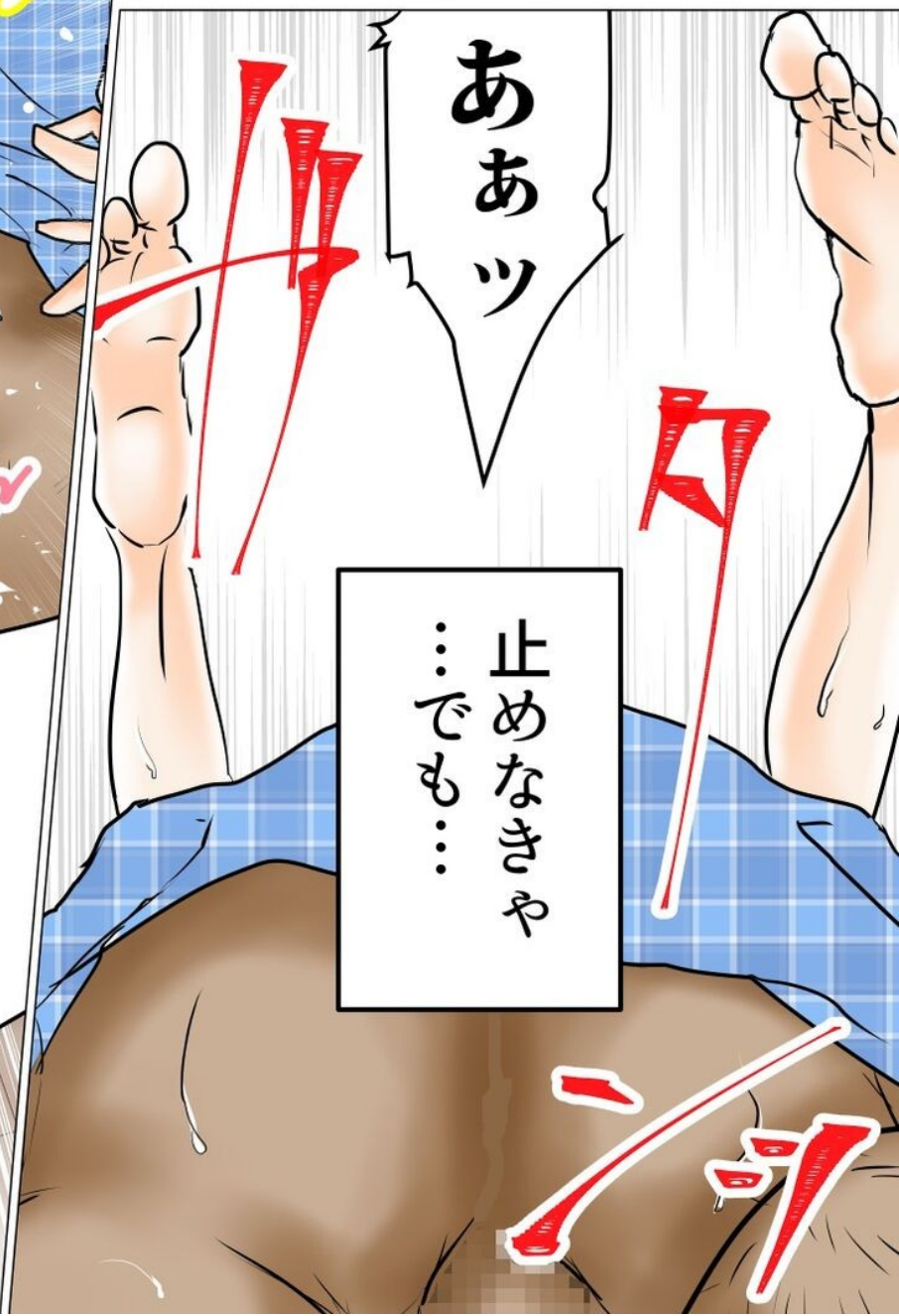
お義父さんっ



とろけるくらい
気持ちいい

あ

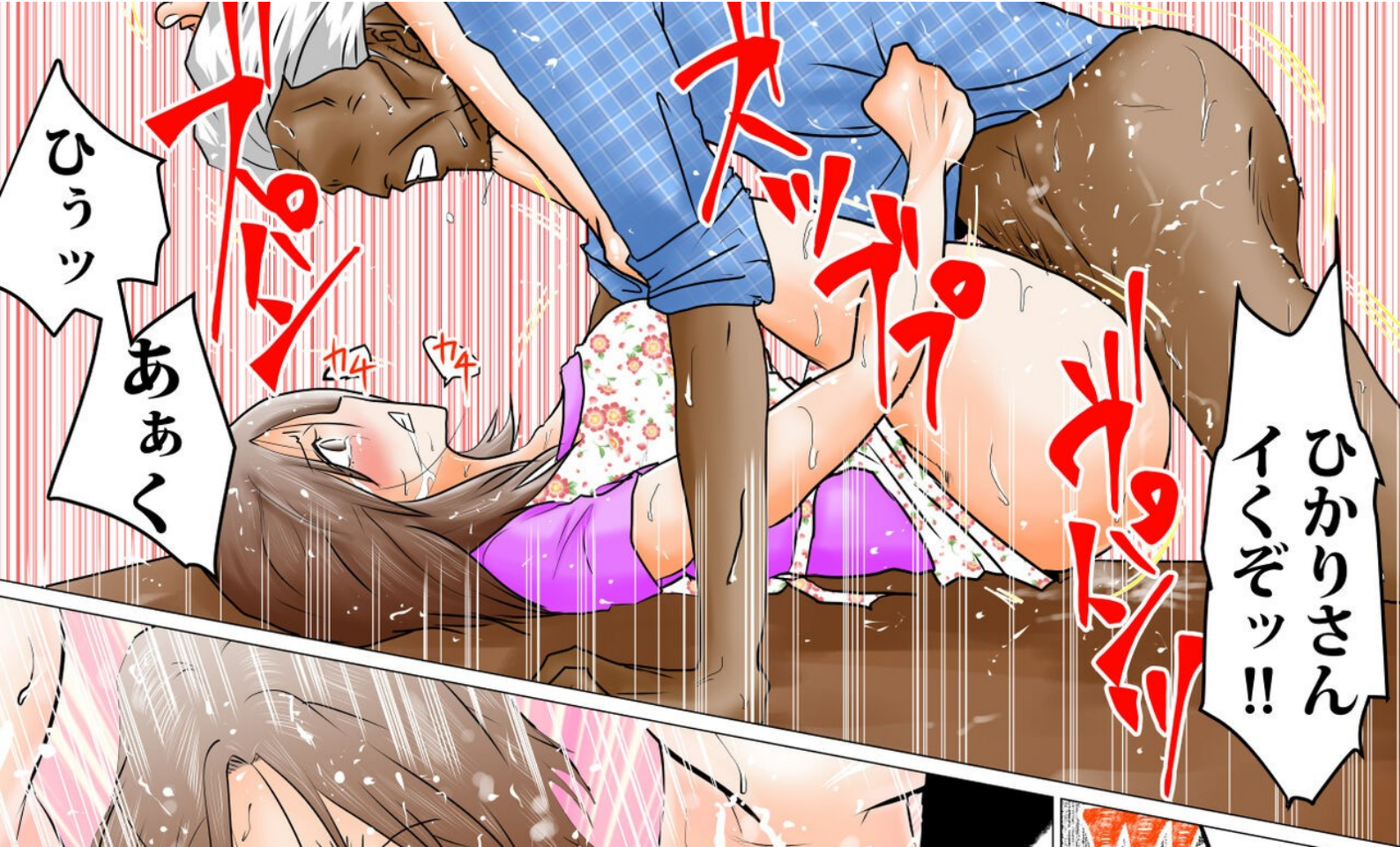
あ

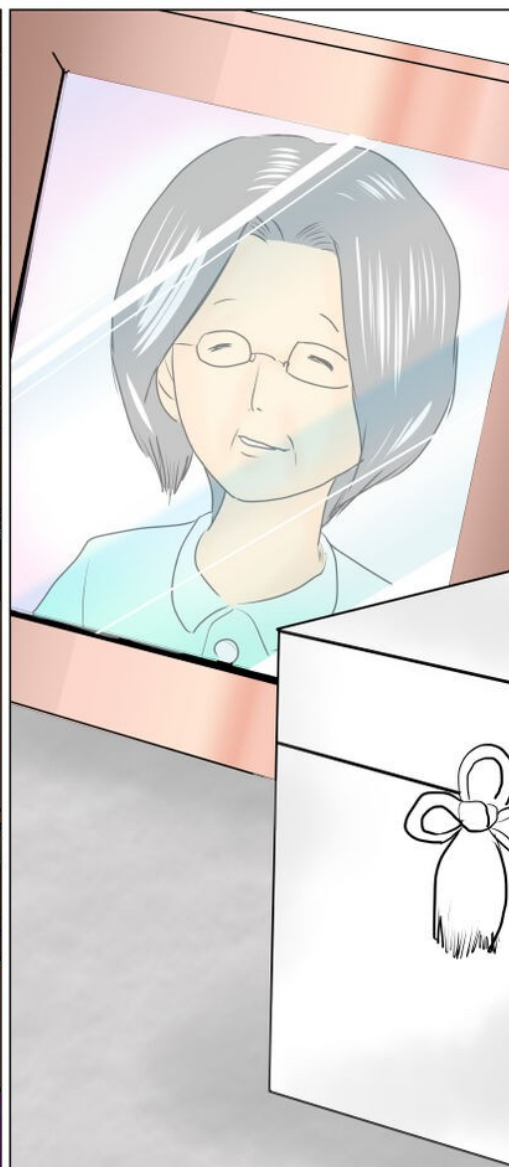
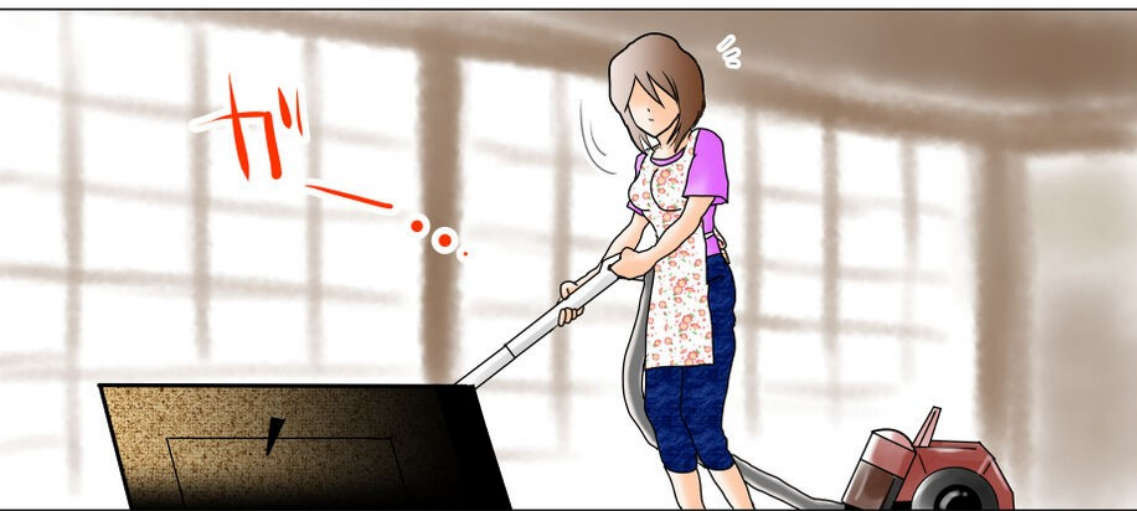
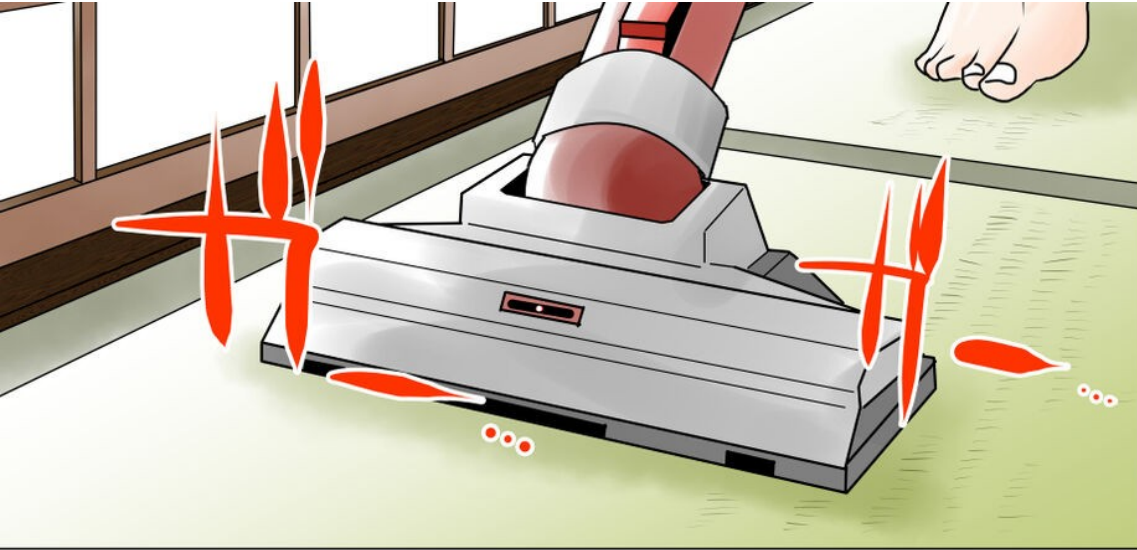


ああッ

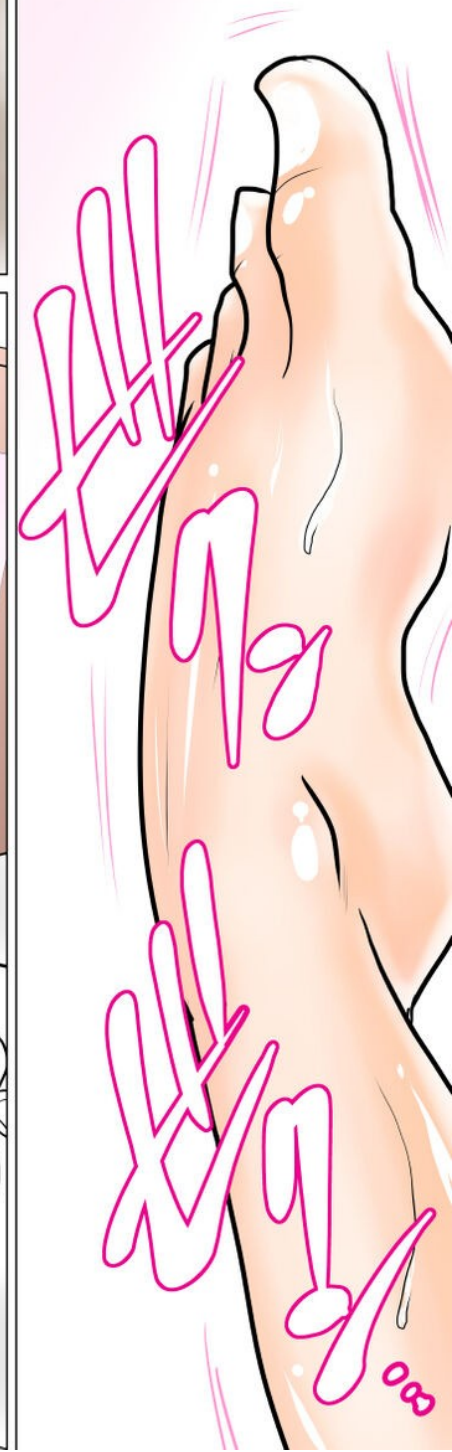
止めなきゃ
…でも…

ッ





ごめん…なさい



義父は日に日に
心身の健康を
取り戻していき
迷いながらも私は
それに喜びを
感じていました

そして強い背徳感
強い快感とぴった
背中合わせで
私たちの行為は
場所も時間も選
ばず
日ごとエスカレ
ート
していきまし
た…

せめてあと
一週間…

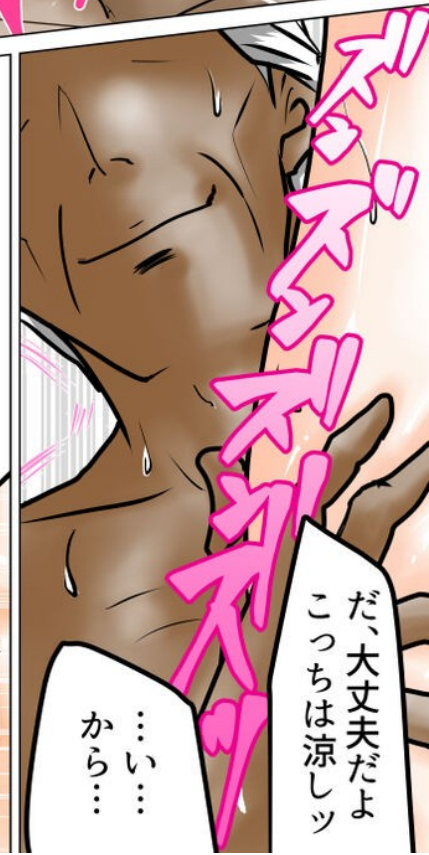
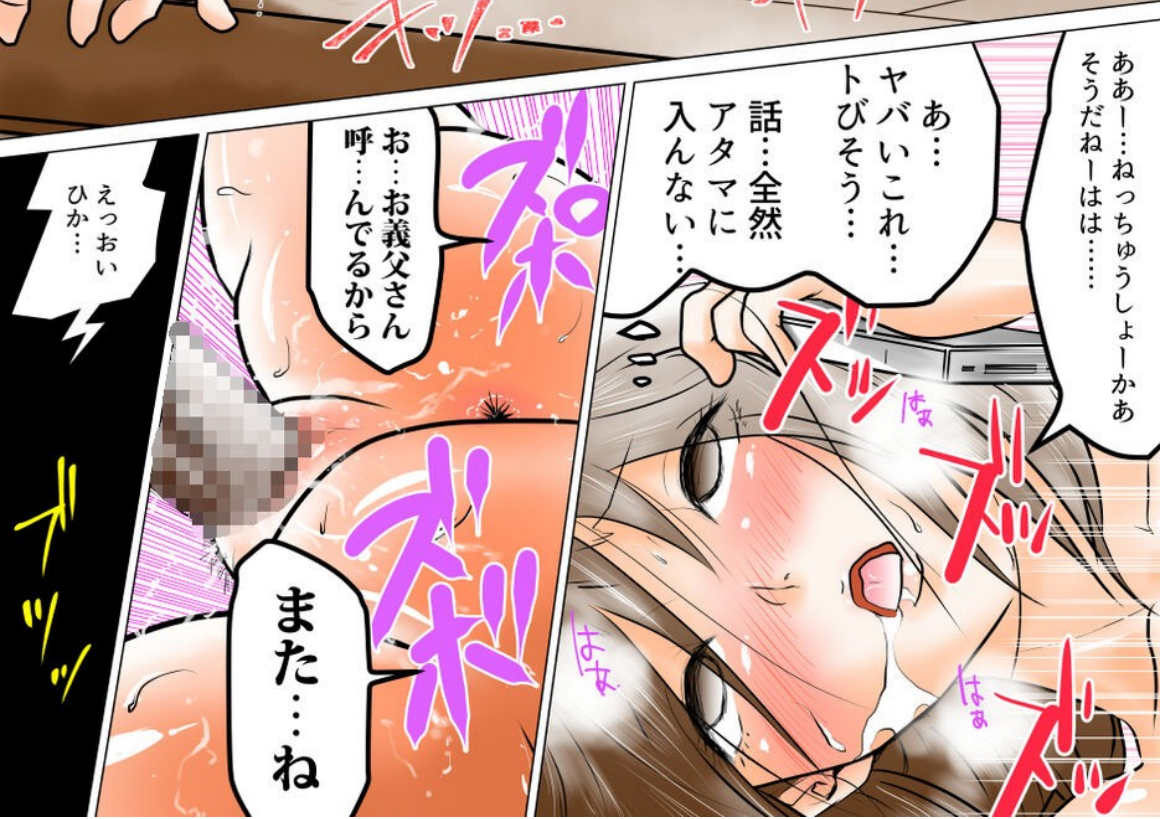
ユウトの新学期が
始まるまでは
傍にいてあげたい
と思っ
て…

ううん、全然
こっちこそゴメンね
一人で大変でしょ
ヒロトさん…

まだちょっと心配で…
だからうん…そうそう

…え？今日の晩御飯？
えっと…えっとね…
そ、そうだな…
ど、どうしよつ…

…あ、ごめんごめん
何でもないよー
今？縁側にいるよ…
え、縁側で…ん…縁側で…



お…お義父さんっ
もつとッ!

もつと突いて!!

だっってお義父さんが…

ああッ

チンポを
挿入られながら
旦那と電話する…
本当に助平だな
ひかりさんは!!
叫んでみなさい
自分は助平だと
!!

ほれっ

ほれ!!

んああッ
!!

わっ…
私は…

助平女
ですッ!!

ごごめん
なさい!!

お義父さんの
おチンポで
アンアン言っ
てごめんなさい!!



こんな変態嫁で

ごめんなさいッ!!

それから一週間後
義父のある程度の
回復を見届けて
私は夫の郷里を
あとにしました

義父は相当に
名残惜しそうでしたが
約束通り私の家庭を
壊すようなことは
しませんでした
ただ別れ際の言葉――

そして一年が経ち
再び訪れた
この家で私は今…
あの言葉の意味を
考えています

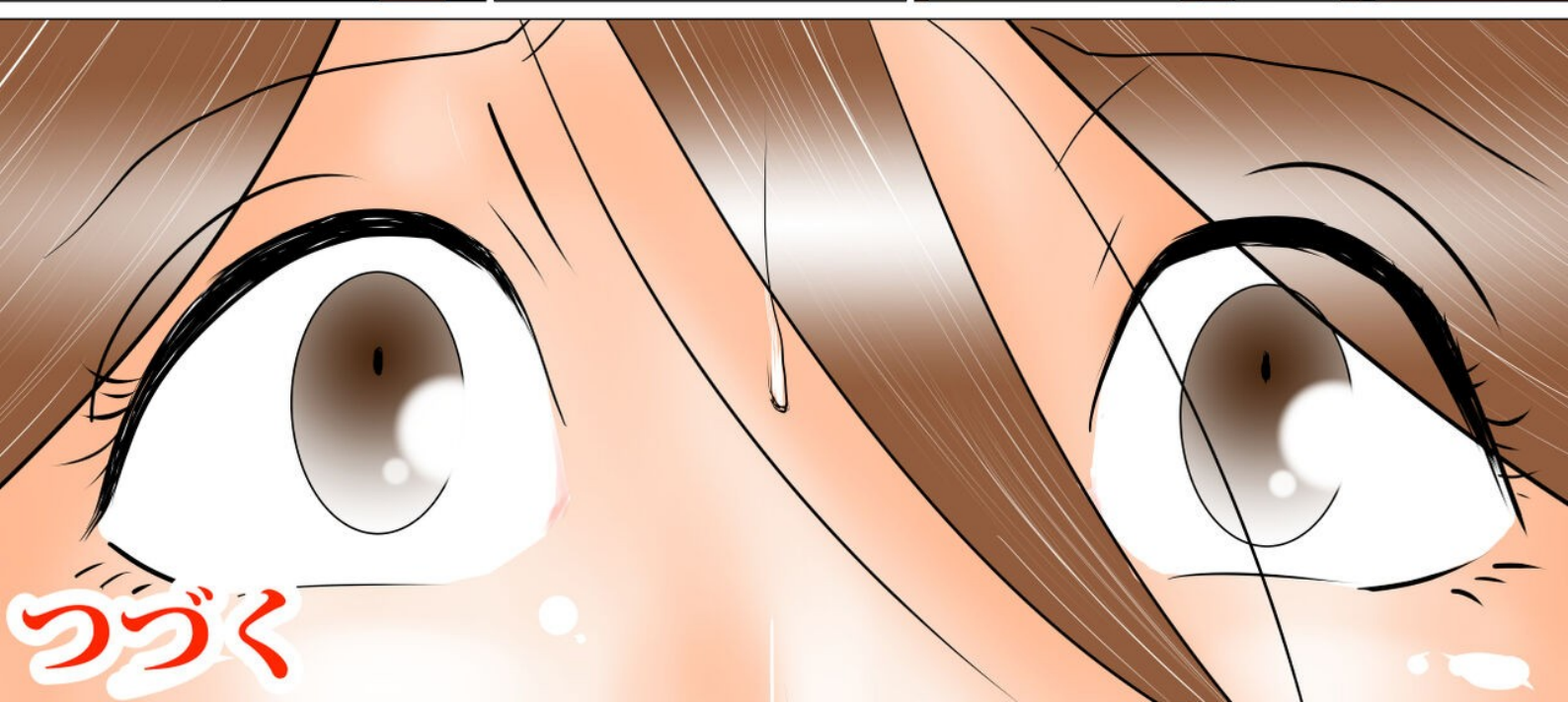
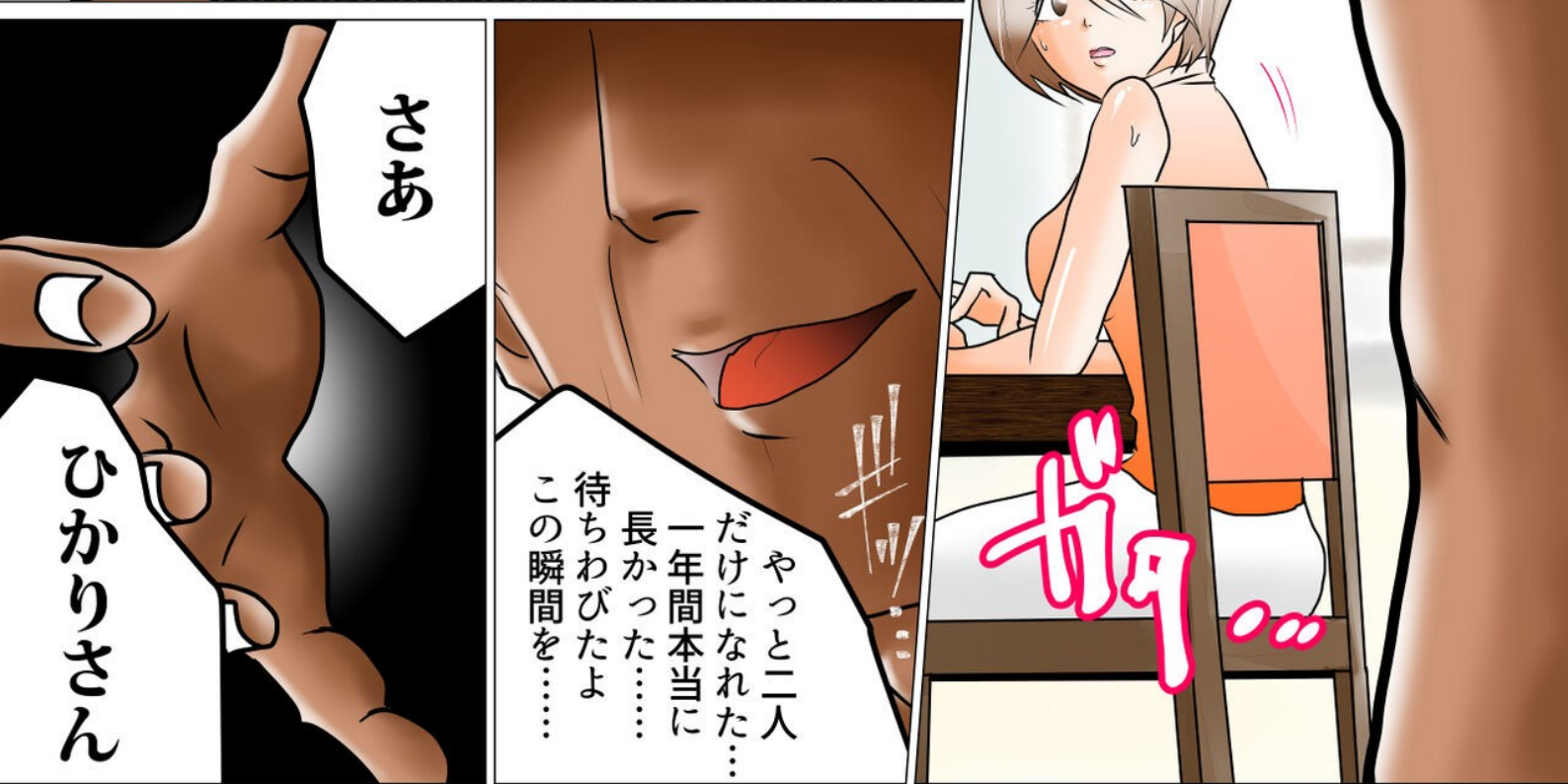
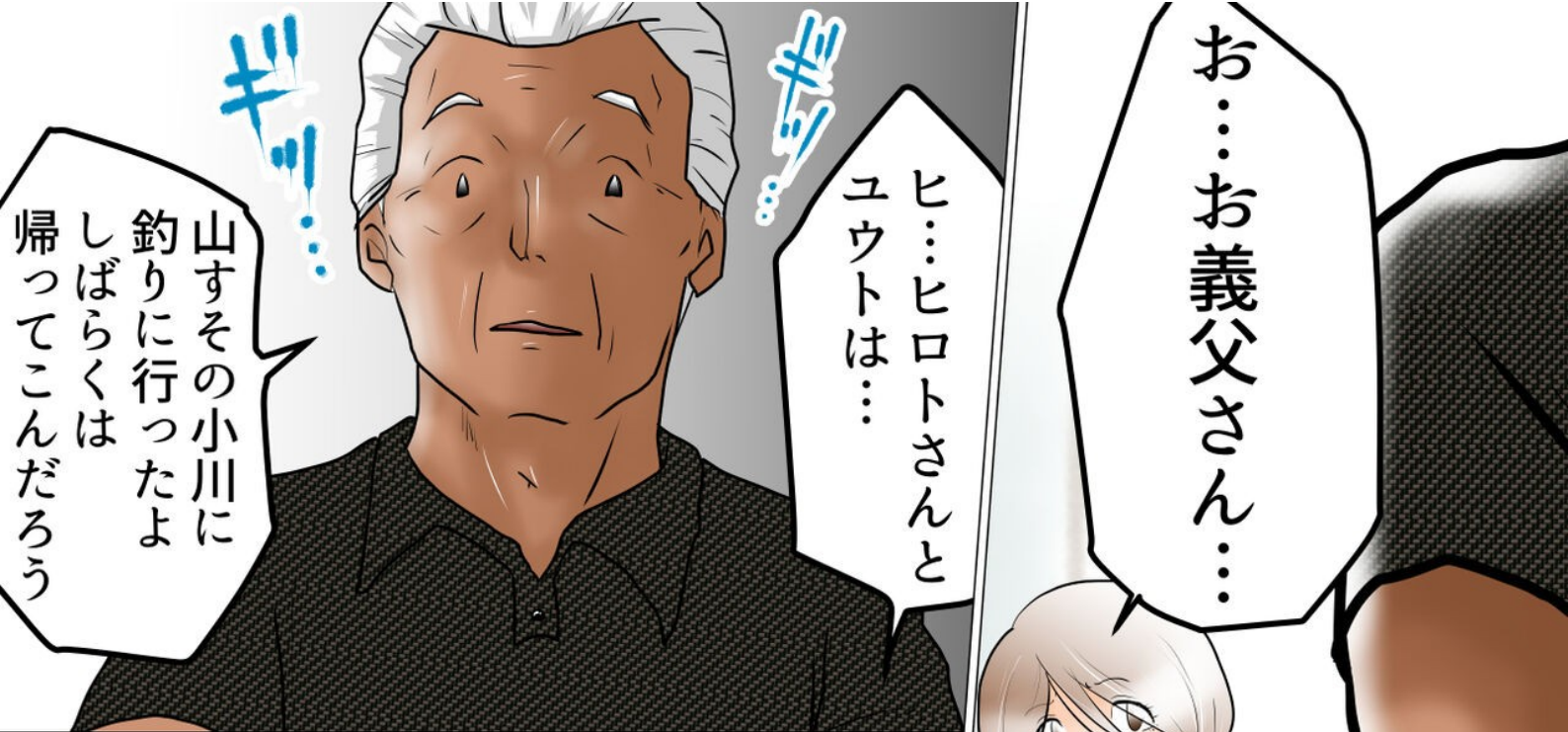
アッ...

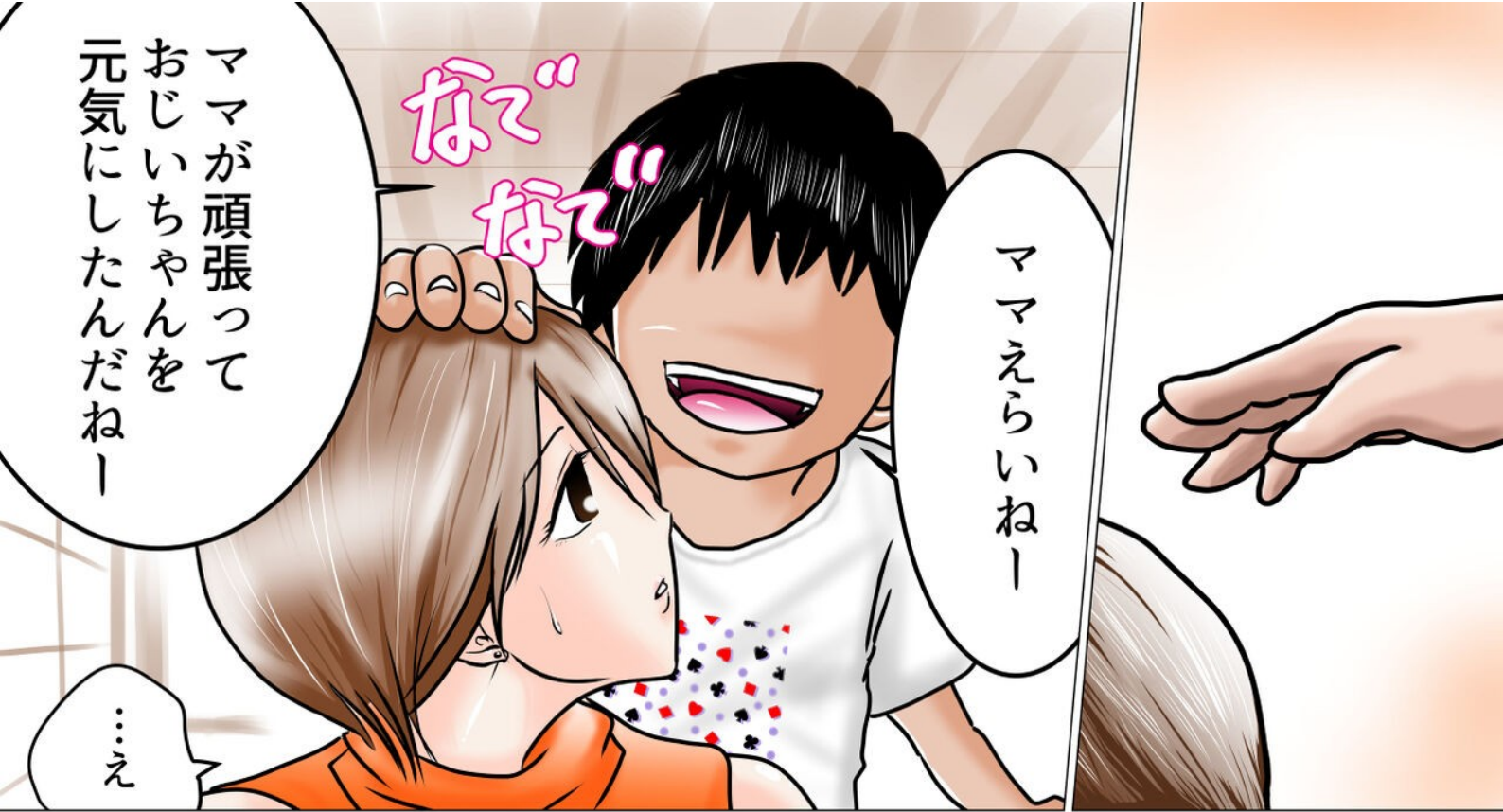
来年の夏も
楽しみにしとるよ

それを励みに
この一年何とか
頑張るつもりだ

ショートヘアもよう似合う…

アッ...



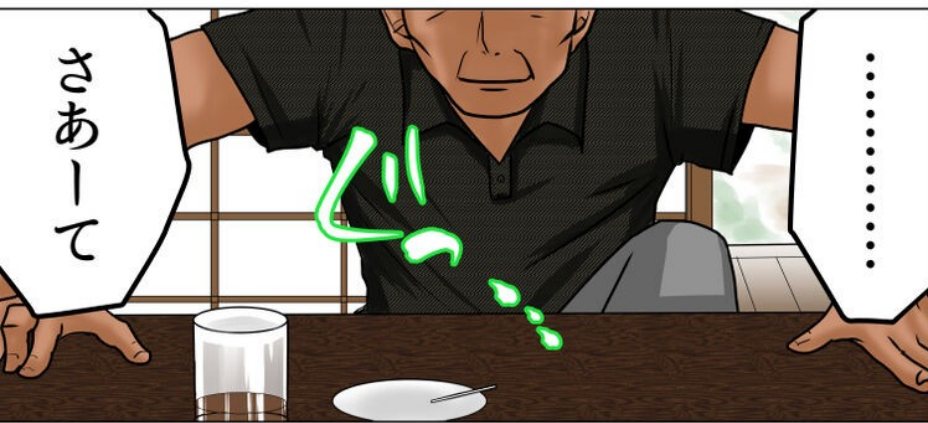


ママえらいねー

なて" なて"

ママが頑張っておじいちゃんを元気にしたんだねー

…え



………

さあーて

ひゅー



着いて早々だが
ヒロト、ユウト!
ご注文の品が
できとるぞ!

おおッ
本当!?

例の釣り竿
だよ、
さすがオヤジ!!

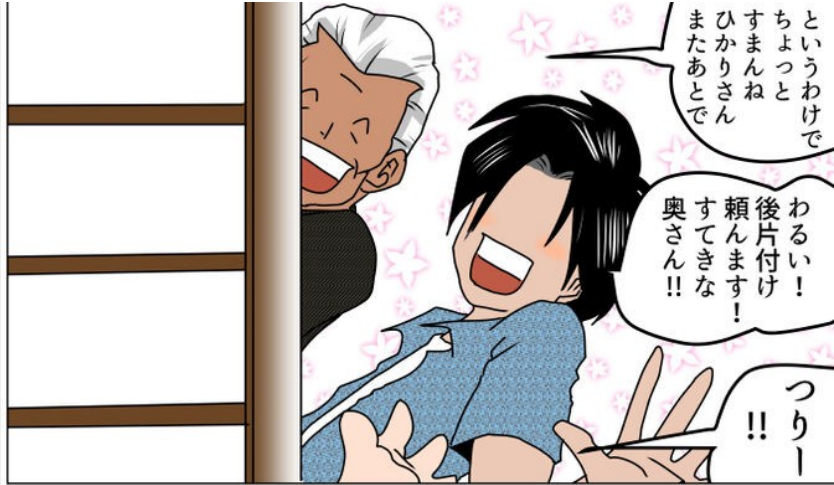
やったー
っりー!
っりー!!

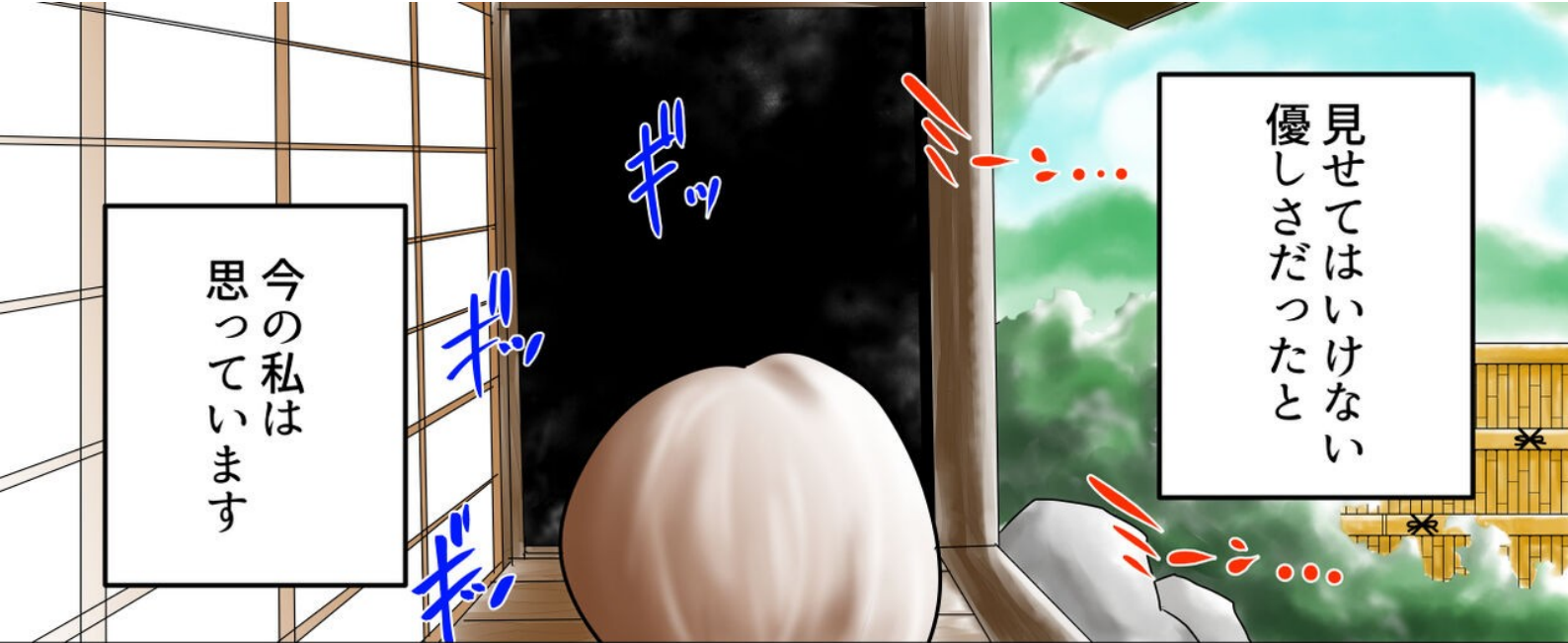
よーし、じゃあ
早速裏の倉庫に
行くかー!



あ…ありがとう
ユウト
でも…どうかな?

そうそうユウト
もつとママをほめてあげて!
なかなかできることじゃないよ実際
さすが俺の嫁!感謝!なあオヤジ!





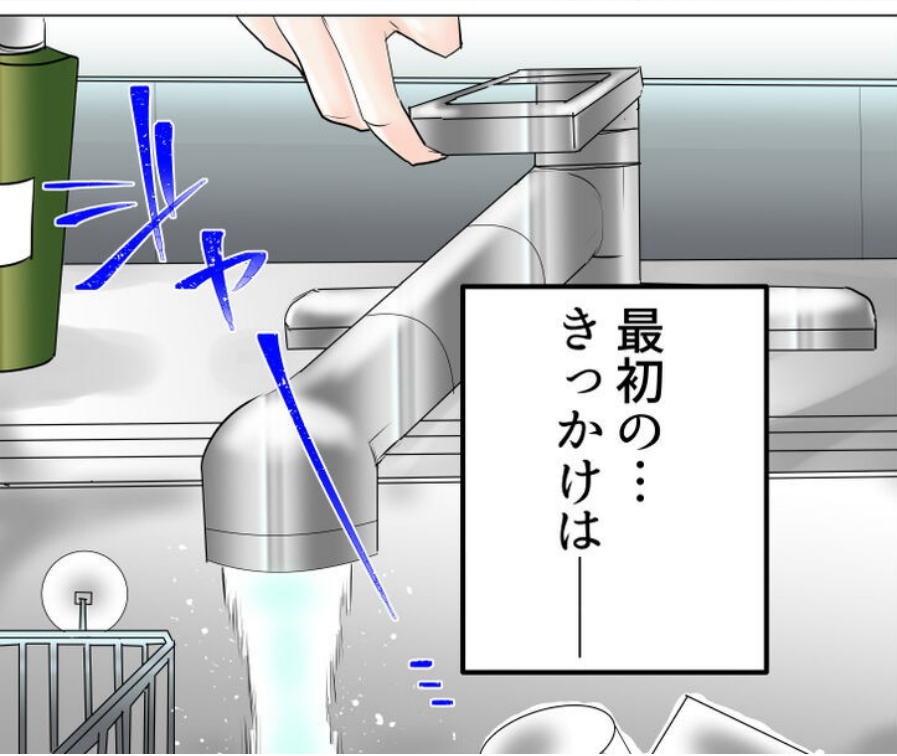
見せてはいけない
優しさだったと

今の私は
思っています

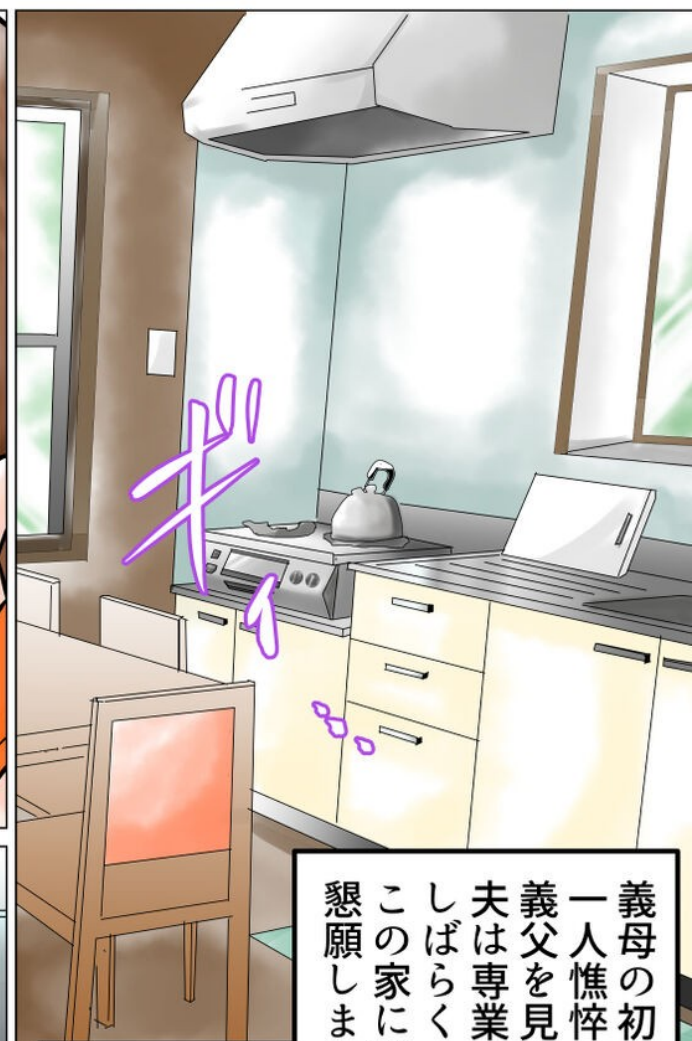


息子のヒロトは
自宅マンションの
近くに住む両親が
私が留守の間
面倒を見てくれた
ことになりました

去年の夏のこと…
そうして義父と私、
一つ屋根の下での
生活が始まった
のです

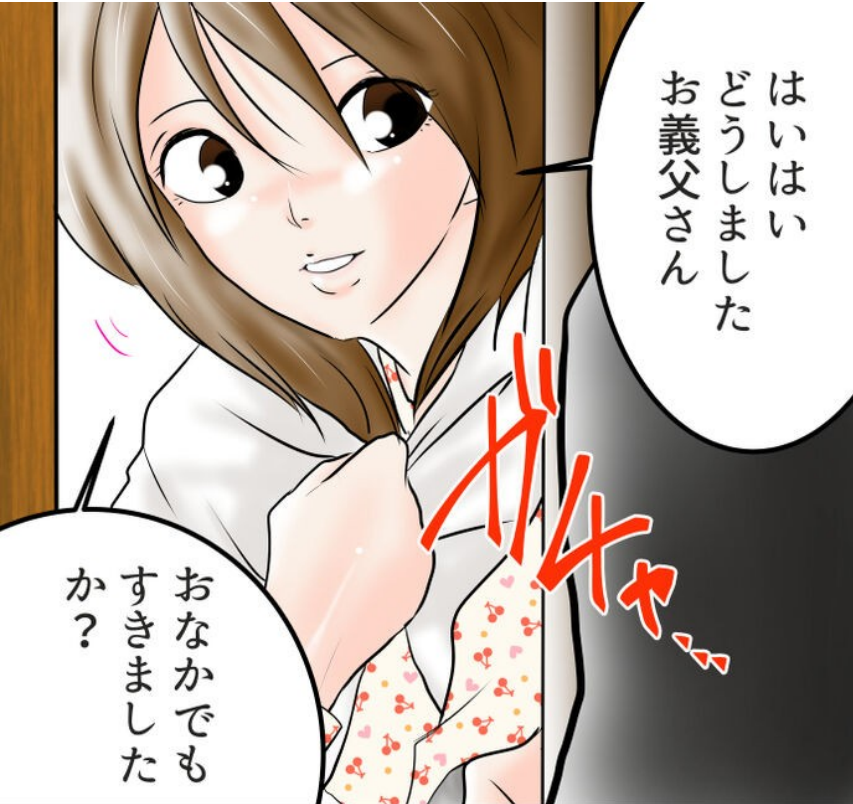


最初の…
きっかけは—



義母の初七日のあと
一人憔悴しきっている
義父を見かねて、
夫は専業主婦の私に
しばらくの間
この家に残ってくれと
懇願しました

涙にくれる義父と
その義父を思う夫の愛情
その時の私に断る理由は
見つかりませんでした



はいはい
どうしました
お義父さん

おなかでも
すきました
か？



ひかりさん…
ちよつといいかな…？

フ…
フ…



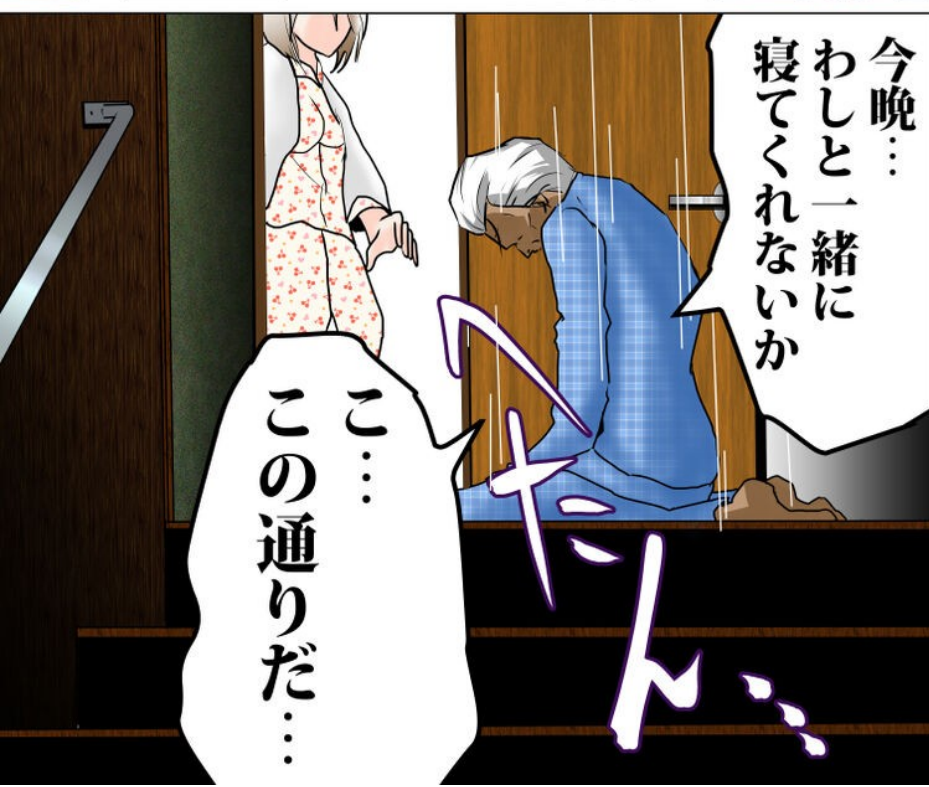
そ、それはいけませんね…
でもお薬に頼るのは
体にもあまりよくない
でしょうし…そうだ、
何か温かい飲み物でも

頼みがあるんだ
ひかりさん…



すまんね
こんな夜遅くに…
食事じゃなくて…
その…

ここ数日…
ほとんど
眠れなくてなあ…



今晚…
わしと一緒に
寝てくれないか

こ…
この通りだ…

この時期の義父は
ほとんど食事もとらず
日がな
ボーっと庭を眺め
時折すすり泣き…
日に日にやつれ
衰えていくそんな
義父を私はただ見守る
しかできない日が
続いていました

は…はあ…

え？

怖いんだ…一人が…
こんな歳して
みつともないと
思うだろ…？
でも…

不安で孤独で
たまらんだよ…
もう限界なんだ…
だからその…同じ部屋で
寝てはもらえんかと…

ああそういうことか…
びっくりした…まあ…
それくらいなら…

ありがとう…

ありがとう
ひかりさん
ありがとう…

………
わかりましたよ
お義父さん
お布団敷きに
お部屋に
行きましようか

あのときの選択が
正しかったか
どうかは

足元
気をつけて
くださいね

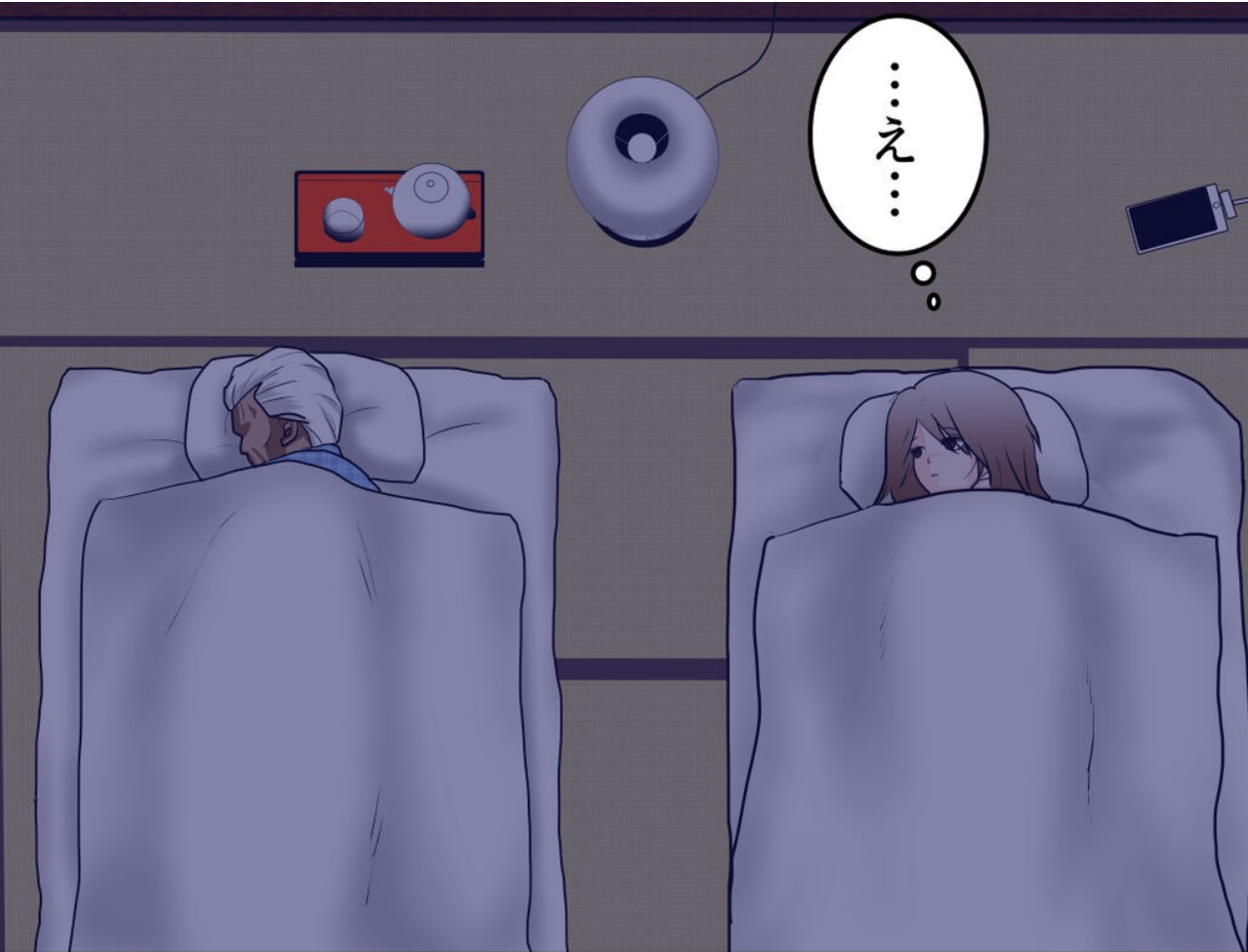
ああ…

いまだに
答えが出ません

ギッ…

ギッ…

ギッ…



お：
お義父さん...

唐突に——
経験したことのない、
胸を絞られるような
感情が私を襲いました

夜中ふと
目を覚ますと
隣の義父が背を向け
声を殺して
泣いていました

な...なんとか...
なんとか
してあげなきゃ...

私が